

# 教 養 科 目

## A. 一般教育科目

### 【人 文 系 列】

科 目 コ ー ド	授 業 科 目	年次	指 定	単 位	担 当 者	備 考
0001	哲 学 (特) 論 理 学 ・ 認 識 論	2	必	4	蒔 苗 暢 夫	神学科用
0002	哲 学 時 間 ・ 空 間 の 哲 学 入 門 (の 一 歩 手 前)	2	必	4	戸 田 山 和 久	
0003	哲 学 概 論 と 現 代 哲 学				赤 松 宏	
0004	科 学 と 人 間				服 部 裕 幸	
0005	哲 学 入 門				大 鹿 一 正	
0006					大 沢 秀 介	
0007	哲 学 と は 何 か				谷 口 佳 津 宏	
0008	現 代 に お け る 認 識 論				牛 島 謙	
0009	ヨ ー ロ ッ パ 近 代 哲 学 の 論 理 構 造 と そ の 再 検 討				加 藤 泰 史	
0010	認 識 と 道 徳 の 諸 問 題				小 池 英 光	
0011	近 世 哲 学 史 と 哲 学 の 問 題				本 多 英 太 郎	
0012						
0013	哲 学 的 人 間 学 の 諸 問 題				立 松 弘 孝	
0021	文 学 室 町 後 期 ・ 江 戸 初 期 の 文 学	1・2	選	4	大 谷 俊 太	文学部は必修
0022	『平 家 物 語』 講 読				美 濃 部 重 克	
0023	浄 瑠 璃 ・ 歌 舞 伎 研 究				安 田 文 吉	
0024	中 国 現 代 文 芸 の 諸 相				中 裕 史	
0025	近 代 小 説 と 女 性				藤 森 清	
0026	音 読 み 漢 字 の 話 ・ 付 洋 語 系 外 来 語				進 藤 義 治	
0027	『好 色 五 人 女』				服 部 仁	

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考	
	歴史	1・2	選	4			
0041	倭国の誕生				新井喜久夫	日本史	
0042						東洋史	
0043						西洋史	
0044	ヨーロッパ近代史				R. Szimpl	東洋史	
0045						西洋史	
0046						西洋史	
0050	ヨーロッパ中世史				岡地 稔	西洋史	
0047						西洋史	
0048						西洋史	
0049	美術	1・2	選	4			
0051	日本美術の流れ				池田洋子	日本の美術	
0052	西洋美術史					西洋の美術	
0053	東洋美術					東洋の美術	
0054	音楽	1・2	選	4			
0055	音楽の歴史的流れに沿ってその時代的様式と音楽美を認識				水谷昌平		
0056	楽曲分析・構造の分析					清田健一	
0057	ブラームス・彼と同時代の作曲家						
	言語学	1・2	選	4			
0061	言語学の基礎				糴山洋介	} 英米科・イスパ ニヤ科は必修	
0062	「ことば」とは何か：						西脇 博
0063	その仕組と本質						



科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0107	法 学	1	必	4	高橋広次 沢登文治 栗本雅和 岡田泉 長井長信 上口裕	法学部
0111	政 治 学 政治権力と人間の権利	1・2	選	4	下川 潔	夏期集中+後期
0112	現代社会における権力				菊池理夫	
0113	と民主主義					
0114	現実問題を通じて本質へ				吉田達志	
0115						

## 【自然系列】

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0130	数 学 数とは何か、 数学とは何か	1・2	選	4	春 藤 修 二	文学部・外国語学部・法学部
0131 0138	微分積分学の基礎	1・2	選・必	4	新 倉 保 夫 新 宮 元 忠 木 村 卓 二 太 田 稔 春 藤 修 二	経済学部・経営学科必修(文学部・外国語学部・法学部選択履修可)
0139 0140	微分積分学の基礎	1	必	4	松 澤 忠 人	情報管理学科
0145 0146	統 計 学 記述から推測へ データの解析と推測	1・2	選	4	岩 橋 亮 輔 程 島 次 郎	
0151	物 理 学 現代の物理学から 見た自然像	1・2	選	4	柏 村 昌 平	
0155 0156	化 学 生活環境における 毒性について	1・2	選	4	山 本 正 康	
0157 0164	生 物 学 生物学(実験を含む)	1・2	選	4	江 本 純	
0158 0162 0165 0166	生物の多様性と進化				江 田 信 豊	
0159	生命の起源と遺伝子				江 本 純	
0160 0161 0163	自然の中の蝶と 人の生物学				阿 江 茂	

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0168 0171	心 理 学 発達を中心として	1・2	選	4	泉 ひ さ	
0169	発達過程と学習の原理を知る				伊 藤 篤	
0170	行 動 科 学				石 田 裕 久	
0172	行 動 科 学				神 谷 俊 次	
0173	心の働きあれこれ				伊 藤 康 児	
0175 0176 0177	科 学 概 論 科学技術文化論	1・2	選	4	横 山 輝 雄	
0181 0182 0183	科 学 史 日本における 科学の社会史	1・2	選	4	小 林 傳 司	(夏期集中+後期)
0185 0186	地 球 科 学 地球の過去・現在・ 未 来	1・2	選	4	大 畑 哲 夫 濱 健 夫	(前期) (後期)

【総合科目】

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0191	総合科目 I 〔生命と環境〕	1・2	選	4		
	生命倫理への招待				土田友章	
	ロシア・東欧の体制転換と社会倫理				家本博一	
	人間の生と死 －自然科学から－				阿江茂	
	環境と経済学 性と環境 文学における生命と環境				水谷重秋 泉ひさ 内藤克彦	
0192	総合科目 I 〔国際関係論〕	1・2	選	4		
	現代国際政治の基本構造と日本				岩島久夫	
	東南アジア・中国・ソ連・日本				明石陽至	
	ロシア・東欧各国の「脱社会主義」への道 －民主化と市場経済化への「幻想」－				家本博一	
	国際関係の政治経済学 ラテンアメリカと国際関係				渡邊頼純 松下洋	
0193	総合科目 I 〔男性と女性〕	1・2	選	4		
	生物の性は“非常識”の世界				江本純	
	文学・芸能・歌謡からみた男と女				安田文吉	
	心理学からみた男性と女性				泉ひさ	
	学校教育における男性と女性				酒井朗	

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
	身体活動における男女差				岩 見 恒 典	
	男性／女性, 文化／自然				杉 本 良 男	
	男女関係と法律知識				松 倉 耕 作	
	科学技術と男性・女性				小 林 傳 司	
	総 合 科 目 Ⅱ	2	必	4		
	〔人 間 論〕					
0196 0211	人 間 と 環 境				阿 江 茂	
0197	フランス文化とフランス人				倉 田 信 子	
0198 0212	自 己 に つ い て				長 倉 久 子	
0199	古代・中世における人間論				蒔 苗 暢 夫	
0200	歴 史 と 文 化				加 藤 泰 史	
0201	文学に描かれた人間像				細 谷 博	
0202	経 済 学 と 人 間				中 矢 俊 博	
0203	人 間 と 自 由				佐々木 亘	
0204	人格をめぐる諸問題				大 森 正 樹	
0205 0213	倫 理 と 文 化				田 村 均	
0206	実存主義思想の系譜				赤 松 宏	
0207	人 間 と 自 然				松 井 良 和	
0208	人格とその尊厳について				桑 原 直 己	
0209 0215	生命（いのち）と論理（ことば）				藤 岡 俊 子	前期
					蛭 田 庸 代	後期
0210	トランス・モダンの自画像				森 際 康 友	
0214	〈われわれ〉についての人類学				佐 藤 信 行	

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
0216	文化倫理学の試み				山 田 秀	前期
0217	音楽の心・ベートーヴェンの思想と精神的発展				杉 田 谷 道	
0218	〈存在と意味〉から〈意味と存在〉へ IV				藤 田 一 美	

## 【キリスト教概説】

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0221	キリスト教概説(特)	1	必	4	久松英二	神学科
0222	キリスト教概説	1	必	4	寺田正親	
0223					狩浦正義	
0224					五百旗頭博治	
0225					青山玄	
0226					E. Rucker	
0227					高山貞美	
0228					石脇慶總	
0229					枝村茂	
0230					五百旗頭博治	
0231					五味巖	
0232					W. Dunphy	
0233					M. Calmano	
0234					枝村茂	
0235					J. Schubert	
0236					W. Dunphy	
0237					久松英二	
0238					M. Calmano	
0239					J. Schubert	
0240					五百旗頭博治	
0241					W. Dunphy	
0242					石脇慶總	
0243					高山貞美	
0244					青山玄	
0245					寺田正親	
0246					狩浦正義	
0247					久松英二	

## 【人文系列】

## 講義概要

## 0001 哲学 (特) (必・2年次・4単位・通年) 神学科用

蒔苗暢夫

## 〔論理学・認識論〕

形而上学、神学等の研究の準備段階として、形式論理学（演繹推理、誤謬論まで）を論じ、加えて、主としてトマス・アクィナスに於ける真理の問題、認識の構造等を考察する。

## 0002 哲学 (必・2年次・4単位・通年)

戸田山和久

## 〔時間・空間の哲学入門（の一步手前）〕

時間とは何か、空間とは何かという問いは哲学でも難しい話題ですが、今回はそいつにとり組んでみようという趣向です。空間論からは、なぜ鏡は左右を逆転する（と我々は言う）のか、そして右と左の違いを言葉だけで説明することは可能か、という2つの問題、時間論からは、タイム・トラベルは論理的に可能かという問題を選んで、考えてみます。もちろんきみたちにも頭から湯気が出るほど悩んでもらいますから覚悟して出席してください。

## 0003 哲学 (必・2年次・4単位・通年)

赤松宏

## 〔哲学概論と現代哲学〕

前期は先ず西洋哲学の源流を探り、その後東洋の哲学、特に仏教の哲学を概観する。西洋、東洋の哲学を概観した後、再び哲学とは何かという問題に戻り、随時必要に応じて哲学史にも言及しつつ、概論的に講義する。後期は現代の哲学に大きな影響を及ぼした哲学者の思想を可能なかぎり詳論する。

## 0004 哲学 (必・2年次・4単位・通年)

服部裕幸

## 〔科学と人間〕

我々にとって比較的身近な問題を考え直すことから始めて、科学的知識と呼ばれるものの性格やその限界、人間の行為や自由の問題などについて考えてみたい。いわゆる教科書は使用しませんが、講義の内容をよりよく理解するための助けとして、あるいは自分で考えるための材料として次の書物を挙げておきます。

前期用：村上陽一郎、『近代科学を超えて』、講談社学術文庫。H. バターフィールド、『近代科学の誕生』（上・下）、講談社学術文庫。E. H. カー、『歴史とは何か』、岩波新書。佐和隆光、『経済学とは何だろうか』、岩波新書。

後期用：土屋 俊、『心の科学は可能か』、東大出版会。フリーユ&ヴィージー、『行為と必然性』、産業図書。坂本百大、『心と身体』、岩波書店。

0005 哲 学 (必・2年次・4単位・通年) 大 鹿 一 正  
〔哲学入門〕

存在、真理、認識、等々、哲学の基礎的問題のいくつかについて、バートランド・ラッセルの著作をテキストとして考察する。英文テキストと日本語テキストを併用する。

テキスト：B. Russell、*The Problems of Philosophy*

日本語テキスト：『哲学入門』、B. ラッセル著、中村秀吉訳、現代教養文庫。

0006 哲 学 (必・2年次・4単位・通年) 大 沢 秀 介

西洋哲学史に沿って講義を進めるが、本コースでは、それぞれの哲学者にとって何が問題であったのかを現代の観点から完全にとらえ直すことによって考えてみたい。

教科書：『西洋哲学の系譜——第一線の哲学者が語る西欧思想の伝統——』ブライアン・マギー編、晃洋書房。

0007 哲 学 (必・2年次・4単位・通年) 谷 口 佳津宏  
〔哲学とは何か〕

哲学とは何か。哲学と他の学問とはどう違うのか。哲学を学ぶことにどういう意味があるのか。こういった問いに対して自分で答えを見出すための手がかりを提供することを目的とする。

0008 哲 学 (必・2年次・4単位・通年) 牛 島 謙  
〔現代における認識論〕

科学哲学を中心にして、二十世紀における知識論を概観する。

テキストは使用しない。かわりに毎回プリントを配布する。

0009 哲 学 (必・2年次・4単位・通年) 加 藤 泰 史  
〔ヨーロッパ近代哲学の論理構造とその再検討〕

マックス・ヴェーバー『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』をひとつの手掛りとしながら、ヨーロッパ近代が提起した哲学的諸問題を考察し、それらが現代においてどのような意義をもつのか、を検討する。

## 0010 哲学 (必・2年次・4単位・通年) 小池英光

## 〔認識と道德の諸問題〕

前期：日常ごく当たり前に見える事柄も目を凝らして視るとき疑問が数々浮かんでくる。世界はその時、新しい光に照らしだされ、私達を果てしない探究に誘う。知識を支える根底は何か、過去や未来、自分と他人の存在、外界やその法則は如何にして知られるのか。前期では、これら認識論の中心問題を考えたい。

後期：生きることは選択することである。どの行為を選ぶ「べき」かは個人の趣味なのか、それとも普遍的な原理によるのか。行為の責任はどこまで及ぶのか、人間は自由なのか、自由は幻想にすぎないのか。後期では、これら問題を何人かの卓越した思想家の所論を検討しつつ、考えて行きたい。

テキストは使わない。講義予定、および、すべての講義について原則として講義概要を配布する。

## 0011 哲学 (必・2年次・4単位・通年) 本多英太郎

0012

## 〔近世哲学史と哲学の問題〕

ベーコン、デカルトに始まる近世哲学の歴史にそって、下記の問題を、しかも現代的観点を考慮に入れながら、講義する。

1. 機械論的自然観と人間
2. 人間とコミュニケーションの問題
3. 歴史と政治

参考書等は、そのつど指示する。

## 0013 哲学 (必・2年次・4単位・通年) 立松弘孝

## 〔哲学的人間学の諸問題〕

代表的な哲学者たちの学説を紹介しながら「人間とは何か」という哲学の根本問題をめぐって、理性と意志と感情、認識と言語、文化と歴史、個人と社会、自由と責任、人間の環境世界、等々の問題について考える。

## 0021 文学 (選・1・2年次・4単位・通年) 大谷俊太

## 〔室町後期・江戸初期の文学〕

東山時代から、安土桃山、寛永時代を経て、元禄時代に至る文学の具体的作品を読みながら、中世と近世の連続と断絶の問題について考察する。

0022 文 学 (選・1・2年次・4単位・通年) 美濃部 重 克  
〔『平家物語』講読〕

『平家物語』を読む。いくつかの章段を取り上げて、出来るかぎり、作品の全体像をつかめるようなかたちで講読する。

教科書：武蔵野書院 昭和校訂『平家物語(完)』

0023 文 学 (選・1・2年次・4単位・通年) 安 田 文 吉  
〔浄瑠璃・歌舞伎研究〕

歌舞伎・浄瑠璃作品を精読して、近世の芸能文化をも合わせて考える。

テキスト：未定

0024 文 学 (選・1・2年次・4単位・通年) 中 裕 史  
〔中国現代文芸の諸相〕

封建王朝の桎梏を漸く脱し西洋の新しい潮流に洗われた中華民国時期。「土」(中国的なもの)と「洋」(西洋的なもの)とがせめぎあうこの時期には、多種多様な文芸が開花した。本年度は、「魯迅と左連」および「何其芳と延安」の両主題によって、1930年代以降の文芸の様相を探究する。テキストはとくに用いず、適宜に参考書を紹介する。なお、講義の進度をみながら、受講者に前後期おのおの二回レポートの提出を求める。

0025 文 学 (選・1・2年次・4単位・通年) 藤 森 清  
〔近代小説と女性〕

ごく「一般的」なヘテロセクシャルの世界では、男と男の関係を「友情」、男と女の関係を「恋愛」と呼ぶことになっている。大雑把にいうと、前者が共通の基盤をもった対称的なコミュニケーションの世界だとすると、後者は共通の基盤をもたない非対称的なコミュニケーションの世界だといえよう。

本講義では、近代の男性作家がこの非対称的な男と女の関係にかかわって悪戦苦闘した結果としての三つの作品を読む。この非対称的で誘惑的な関係の世界に少しは自覚的になってみよう。

テキスト：『或る女』上・下(新潮文庫)、『蒲団』、『明暗』(岩波文庫)

0026 文 学 (選・1・2年次・4単位・通年) 進 藤 義 治  
〔音読み漢字の話、付洋語系外来語〕

音読み漢字(漢語)の現状、発音(発音の偏り-同音異義語の問題)、造語性(一字漢語・二字漢語・三字漢語・四字漢語)、歴史的変遷(漢語の増加・混種語の発生・和製漢字及び和製漢語)、将来への問題などを検討する。

併せて洋語系外来語の歴史と現状を概観する。

テキストはプリントを作成し配布する。なお参考文献は随時紹介する。

0027 文 学 (選・1・2年次・4単位・通年) 服 部 仁  
〔『好色五人女』〕

江戸時代のみならず、日本文学全体を見通しても代表的作家である西鶴の浮世草子『好色五人女』を読み、人間を凝視した西鶴の浮世草子創作の方法についても考察してみたい。

テキスト：校注古典叢書『好色五人女』（神保五彌校注、明治書院刊）

0041

0042 歴 史 (日本史) (選・1・2年次・4単位・通年)

0043

新 井 喜久夫

〔倭国の誕生〕

弥生時代以降、日本列島上には多くの小国家が発生するが、やがてそれらを統合する権力があらわれる。邪馬台国は30の小国を支配する原始国家であり、さらにその延長上に大和政権が出現する。今年は大和政権が全国的支配権を得るまでの過程の諸問題について考察することとする。

0044 歴 史 (東洋史) (選・1・2年次・4単位・通年)

重 松 和 男

先史時代以来の東アジアの歴史を中国を中心に、その周辺にもふれながら論述する。

0045

0046 歴 史 (西洋史) (選・1・2年次・4単位・通年)

0050

R. Szippel

〔ヨーロッパ近代史〕

現代世界は一体化しつつあるが、世界の主要文化圏の交流は長い歴史を持っている。講義はさまざまな文化圏の交流を中心として、世界一体化を可能にした世界史の重要な潮流を考察していく。

主なテーマとしては、世界の古代文化圏の成立、都市文明の成立、ユーラシア史の成立、イスラム世界の成立、モンゴル帝国の成立、近代世界の成立、大航海時代、科学革命、産業革命、政治革命、19世紀の西欧支配下の世界、20世紀の世界、などを取り上げたい。

テキスト・参考書は講義中に指示する。

0047  
0048 歴史 (西洋史) (選・1・2年次・4単位・通年)  
0049 岡地 稔

〔ヨーロッパ中世史〕

以下のテーマを通して、中世ヨーロッパの政治・社会の諸相を考察していきたい。

1. 「王の旅」と「封建制」

中世ヨーロッパの君主は絶えず旅の途上にあった。彼らは何故旅をしたのか。この問いかけから始めて、中世ヨーロッパにおける政治のしくみを考察していく。

2. 「名前」の周辺

ヨーロッパ中世において多くの君侯があだ名で呼ばれるのは何故か。各王朝で同名の王が輩出するのは何故か。「名前」に関わるこうした問題を通して、中世社会の一側面を提示したい。

0051 美術 (選・1・2年次・4単位・通年) 日本の美術

池田 洋子

〔日本美術の流れ〕

日本の美術の変遷を、その美術の行なわれた社会の階層や、その美術の表現の媒体となった素材の特徴などによる分類で考えていきたい。それらの特徴に従って以下のように講義する。

1. 先史 原始の美術、2. 飛鳥の美術、3. 奈良の仏教美術、4. 平安貴族の美術、5. 院政期の美術、6. 鎌倉新仏教の美術、7. 室町将軍の美術、8. 禅林の美術、9. 桃山の美術、10. 江戸将軍の美術、11. 京都町衆の美術、12. 江戸町人の“イキ”の美術、13. 江戸の武士達の美術、14. 京都の“粹”の美術、15. 幕末の美術

0052  
0053 美術 (選・1・2年次・4単位・通年) 西洋の美術

江本 菜穂子

〔西洋美術史〕

私たちは常に時代の政治・社会・経済・文化に大きな関わりを持っている。その時代時代の美術も当然のことながら時代の美意識や価値の中でつくられる。しかし、時を超えて素晴らしい作品を私たちは認めることができる。そこでこの講義では、主としてルネサンス以降から近代(19世紀～20世紀初)までの西洋の美術絵画にスポットをあて、様式の成立、意味等を考えながら作品を鑑賞していくつもりである。毎回スライド使用。

## 0054 美術 (選・1・2年次・4単位・通年) 東洋の美術

石黒 淳

## 〔東洋美術〕

インドに始まり中国、東南アジア、日本といったアジア諸国で、古代から中世にかけて花開いた仏教美術についてスライドを使用して講義します。

仏教美術は釈尊が説いた仏教を背景にした宗教美術ですが、最初は釈尊の生涯及び釈尊の前生を神話化して生み出された物語に基づいて誕生します。それらは一般に仏伝図及び本生図と呼ばれています。従って前半はこれら仏伝図、本生図について背景の説話を混え講義します。仏伝図、本生図が衰退し、ガンダーラ地方で独尊像(仏像、菩薩像)が誕生し、仏・菩薩像を中心とした仏教美術が中国、日本に伝わります。後半ではこうした仏教美術を講義します。

## 0055 音楽 (選・1・2年次・4単位・通年)

水谷 昌平

## 〔音楽の歴史的流れに沿ってその時代的様式と音楽美を認識〕

音楽をよく理解するためには、なによりもまず音楽史の知識が必要である。現在の音楽がどのように発達してきたのか、いったい音楽はどうして発生し、過去の音楽がどのようなものだったかということを知り、音楽の意義と価値についての認識と健全で妥当な音楽観をもつよう追求していきたい。

門馬直美『西洋音楽史概論』(春秋社)

## 0056 音楽 (選・1・2年次・4単位・通年) (金曜5・6)

清田 健一

## 〔楽曲分析・構造の分析〕

前期に弦楽四重奏曲、後期に交響曲の各一つの楽章をくわしく分析し、音楽の形について理解を深める。

テキストとしてスコアを読むため、楽曲の知識があることがのぞましい。

## 0057 音楽 (選・1・2年次・4単位・通年) (金曜7・8)

清田 健一

## 〔ブラームス・彼と同時代の作曲家〕

ブラームスを中心にすえて同時代の他の作曲家の作品と聴きくらべてゆくことにより、音楽のもついろいろな要素、その時代が音楽に与えた影響等について考える。

## 0061 言語学 (選・1・2年次・4単位・通年)

榎山 洋介

## 〔言語学の基礎〕

我々が日常使っている現代日本語及び初歩的な英語を素材として、言語学の基本

的な考え方を学んでいく。特に「世界の言語と日本語」「言語と社会」「言語学の基本分野」（特に、文法論・意味論）等のテーマを扱う。受講するにあたって、言語学の予備知識は必要としないが、日本語であれ外国語であれ言葉に対して何らかの興味を持っていることを前提とする。

評価は筆記試験及びレポートによって行う。

参考文献は随時紹介する。

0062 言語学（選・1・2年次・4単位・通年） 西脇 博  
0063

〔「ことば」とは何か：その仕組と本質〕

個々の言語の専門的な研究ではなく、言語一般についての多方面からする考察である。日常生活をはじめ、学問、政治、経済など文化のあらゆる側面を支えている言語とは、どのような性質を持ち、どのような仕組みを持っているか。また個人の精神生活や社会生活のなかで言語はどのような機能を果たすか。世界には多くの異なった言語や方言があり、それらはまた時代とともに変化するが、各言語はそれぞれの社会の文化をどのように反映し、また伝承して行くか。外国語学習の困難さと意義はどこにあるか、などの問題を考察する。

プリント使用、参考文献随時指定。

## 【社会系列】

## 講義概要

## 0071 経済学 (選・1・2年次・4単位・通年) 文・外・法学部用

大谷津 晴 夫

高齢化社会における経済・社会問題を、医療、年金、介護、労働市場、家族、企業福祉、財政にわたって検討する。

テキスト：宮島洋『高齢化社会時代の社会経済学』岩波書店

## 0072 経済学 (選・1・2年次・4単位・通年) 文・外・法学部用

田原 昭 四

経済学の基礎的な考え方を、日本経済を中心とした現実の経済現象に即して講述する。対象範囲は経済成長、金融、財政、産業、経済変動、国際経済。

テキスト：篠原三代平『経済学入門』(日本経済新聞社、1992)

## 0073 経済学 (選・1・2年次・4単位・通年) 文・外・法学部用

末 重 正 行

経済学の基礎的な考え方を講述する。現実の経済問題についても経済学の考え方がどのように応用されているかできるだけ説明したい。

## 0074 経済学 (必・1年次・4単位・通年) 経済学部用 中 矢 俊 博

下記のテキストを使用して、経済学の基本的な考え方を講じる。経済学の考え方、経済の歴史、経済学の歴史、ミクロ理論、マクロ理論を中心に進めていきたい。時に、現実の経済社会に関する知識を習得するために、プリントを配布したり、ビデオを見たりしたいと考えている。

テキスト：森茂也著『新講経済学(改訂版)』(同文館)

## 0075 経済学 (必・1年次・4単位・通年) 経済学部用 森 茂 也

経済学を最初に習う人のために、経済学の性格・研究方法からはじめ、広く経済学の基礎を講ずる。とくに関連性を欠く百科辞典的知識の獲得ではなく、体系としての経済学を把握することに重点をおき、単なる専門課程における経済学の基礎ということだけでなく、初学的次元ながら、経済学の一応の完結を目指す。

経済学研究の態度を重視し、経済学のもつ学問的資格とその意味を一貫して強調することにより、また経済学のもつ限界も指摘して、他の分野を含めて、諸科学の基礎的訓練になるよう配慮したい。

テキスト：森 茂也『新講経済学』（改訂版）同文館

**0076 経済学（必・1年次・4単位・通年）経営学科用 杉山俊治**

経済学生活の意味、経済社会の発展、経済思想の展開について概観したあと、ほぼ上記のテキストに沿ってミクロ・マクロの経済理論を現下の経済問題を適宜取りあげながら講述する。

テキスト：森 茂也著『新講経済学』（改訂版）同文館

**0077 経済学（必・1年次・4単位・通年）情報管理学科用**

**0078 経済学（必・2年次・4単位・通年）再履修者用 中矢俊博**

〔現代社会を見る目〕

下記のテキストを使用して、経済学の基本的な考え方を講じる。また現実の経済社会についての知識を習得するために、時々プリントを配布したり、ビデオを見たりしたいと考えている。

テキスト：森 茂也著『新講経済学（改訂版）』（同文館）

**0081 社会学（選・1・2年次・4単位・前期+夏期集中）石川洋明**  
**0082**

社会学にとって、現代社会論、つまり「今私たちが暮しているこの社会はどんな社会なのか」という疑問への解答は、常に重要な課題である。この講義でも、現代日本社会を知るうえで鍵となるいくつかの事象の分析を通じ「どんな社会か」という問いへの解答を試みたい。社会は複雑だが、分析を通じて社会の全貌がいくらかでも「見えて」くれば、社会のおもしろさが感じられるだろう。分析の素材・視点としては、以下のようなものを考えている。

☆市民社会とは？／☆資本主義と社会主義／☆天皇制と日本／☆女性学（資本制と家父長制）／☆社会病理（嗜癖・非行・犯罪）——など。（都合により題材の変更がありうるので、ご了承ください。）

**0083 社会学（選・1・2年次・4単位・前期+夏期集中）**

鮎川 潤

〔社会学の基本的な考え方を知り、社会問題を分析する。〕

まず、社会学の基本的な概念を学習するとともに、社会学の基本的なものの見方を理解し、身につけられるようにしたい。他方で、それらの考え方や概念を活かして、現代の日本社会が直面する社会問題のうちいくつかを取り上げ、実際に分析して考察したい。

学習する概念としては、例えば「準抛集団」「アノミー」「予言の自己成就」などがある。取り上げる社会問題としては、「少年非行」「タバコ喫煙」やマスメディアをめぐる諸問題をはじめとして多様な社会問題を予定している。

**0084 社会学 (選・1・2年次・4単位・通年) 森下伸也**  
**0085**

われわれが何気なく暮らしている日常生活のうちには、制度という目には見えない仕掛けがいたるところに張りめぐらしてある。社会学とは、この目に見えない仕掛けを目に見えるものにしていく作業である。この作業には一方で、今まで自明なものとしてよりかかっていたものが崩壊して生じる「めまい」や「ゆらぎ」の感覚がともなっているが、また他方では、みずから制度という拘束衣から解き放つ自由の感覚がともなっている。ジャズとおなじく、大学の勉強も「スイングしなけりゃ意味がない」。知的スイング感の昂奮と醍醐味を思う存分味わいながら、たんなる知識ではなく、「よく生きる」ための知恵としての社会学的想像力を身につけてもらうこと、これが本講義のめざすものである。

テキストは、森下・君塚・宮本『パラドックスの社会学』(新曜社)。

**0091 文化人類学 (選・1・2年次・4単位・通年) 加藤隆浩**  
**[文化の見方]**

文化人類学は異なる民族の社会や文化比較から、自己の文化をその中で、相対化し、把握することを目的の1つとしている。言い換えれば、これは、諸民族の生活様式の差異と斉一性を明らかにすることに外ならない。本講義では、文化人類学のさまざまな手法にもとづき諸民族の説話・伝承をたていとし、生業活動・社会関係・儀礼・宗教などをよこいとしとして、社会・文化を相対比するとはどういうことなのかを概観する。

**0092 文化人類学 (選・1・2年次・4単位・通年) 倉田勇**  
**[文化の多様性の諸様相]**

共通の言語を話していても同じ文化をもつとは言えない。日本人は単一民族であり単一文化だと考えている人は村1つ異なると習慣が異ると知るべきだ。この様相は世界の民族社会に共通している。世代の差を考えながら人生儀礼、空間、時間、食事慣習につき具体的な事例からその意味を話そうと予定している。

**0093 文化人類学 (選・1・2年次・4単位・通年) 中込睦子**  
**[異文化との出会い]**

文化人類学は、地球上の様々な民族の生活と文化を研究する学問である。その発端は、19世紀西欧社会が「異人(異文化の担い手)たちと出会い、その文化を(彼らなりに)何とか理解しようとしたことにはじまる。本講義では、入々が異文化と出会い、それを何とか理解しようとしたその道筋をたどるとともに、私達自身も異文化との出会いを(書物の上ではあるが)体験していきたいと思う。そしてそのような異文化との出会いを通じ、これまで「当たり前」だと思ってきた私たち自身

の生活と文化をも問い直してみたいと思う。

0094 文化人類学 (選・1・2年次・4単位・通年) 山田隆治  
〔文化人類学の考え方〕

人類は現在までにいろいろな文化(生活の仕方や考え方)を生み出してきた。これらの違ったやり方が人間の生活一般にとってどういう意味をもち、また我々のやり方に対して何を示唆するかを具体的な事例を通して考察し、異民族文化研究としての文化人類学の考え方を説明する。

0101 法学(日本国憲法を含む) (選・1・2年次・4単位・通年)  
文・外・経済・経営学部用 善家幸敏

前期は法とは何か、法学とはどのような学問であるのかということの説明を主眼とする。即ち、これから法及び法学を学ばんとする者のために、勉学上必要な予備的基礎知識を与えることに役立つと共に、民主国家の主権的国民として、当然持たなければならない法学的教養を広く身につけるために、役立つことを意図している。

後期には、憲法に関する最重要点をピックアップし、判例を交えて、解り易く詳細に解説することを、その旨とする。例えば(1)象徴天皇制と国民主権、(2)戦争の放棄と自衛権、(3)信教の自由と政教分離、(4)表現の自由と猥褻罪等の如し。

テキスト：善家幸敏『法学概論』(第二版)成文堂

0102 法学(日本国憲法を含む) (選・1・2年次・4単位・通年)  
小林武

〔法と日本国憲法を事例をとおして学ぶ〕

法とは何か、法は私たちの様々な生活領域でどのような働きをしているか、を学んだ上で、日本国憲法について、その成り立ちと歴史、国民主権、平和主義、人権の保障、統治の仕組みを講述する。

講義はつねに具体的事例にもとづいたわかりやすいものにした。

テキスト：小林武著『法学講義』啓文社

0103 法学(日本国憲法を含む) (選・1・2年次・4単位・通年)  
文・外・経済・経営学部用 大川睦夫

判例や現実に生起する法律問題を素材にして、現代日本の法制度とその適用における諸問題を、民主主義の発展と基本的人権の保障という観点から考察する。

教材：憲法教育研究会編『検証・日本国憲法』(法律文化社)

0104 法 学 (日本国憲法を含む) (選・1・2年次・4単位・通年)  
文・外・経済・経営学部用 高橋 広次

〔実定法学と日本国憲法〕

これから初めて法を学ぼうとする者への入門として、「法の内容」「法の体系」を講述したあと、「法の理念」「国家の本質」の問題を取り扱い、後期には日本国憲法を基本的人権及び統治機構の両面から説明する。なお、講義に臨むにあたって小型の「六法」を携帯されたい。

テキストは指定しないが、参考書として以下のものを勧める。

萩野芳夫編『法学』(法律文化社)を勧める。

声部信喜『憲法』(国家と法I)放送大学教育振興会

0105 法 学 (日本国憲法を含む) (選・1・2年次・4単位・通年)  
小山 剛

〔事例に学ぶ法学・憲法〕

法と道徳、法の効力と淵源、法の分類……法学の教科書は、このような題目ではじまるものが多い。しかし、「法とはなにか」という問題に一般的・抽象的に取り組み、かつこれを理解するのは、至難の技である。

このため、講義では、まず前期に具体的な事例をできるだけ多く取り上げ、事例を通じて、法律学とはいかなる限界があるのか、を見てゆくことにしたい。

後期には、憲法に重点をおいて、日本の統治の仕組み、人権保障の理念とそのための手段について解説をする。この場合にも、具体的な事例を通じて理解を深めてゆく。

0106 法 学 (日本国憲法を含む)  
(選・1・2年次・4単位・前期+夏期集中)  
文・外・経済・経営学部用 山田 秀

〔法・国家・憲法〕

先ず、法と国家の存在論、本質論、分類論を踏まえた上で、次に日本国憲法を、歴史的観点と体系的観点から講述する。更に、股間の余裕があれば、伝統的自然法論の立場から権利及び基本的人権の存在論、本質論、分類論を論じる予定。

使用教科書は開講時に指定する。

0107 法 学 (必・1年次・4単位・通年) 法学部用  
高橋 広次 沢 登 文 治 栗 本 雅 和  
岡 田 泉 長 井 長 信 上 口 裕

日本国憲法をはじめとする諸法の基礎を、それぞれの分野の担当者が、リレー形式で講義していく。

本講を法学部専門科目である「私法概説」とあわせ履修することにより、法学のアウトラインを知ることができる。

なお、統一テキストは、使用しない。

**0111 政治学 (選・1・2年次・夏期集中+後期) 下川 潔**  
〔政治権力と人間の権利〕

政治権力と人間の権利の対立に焦点を絞り、その対立の現実を直視し、両者の規範的關係を考察したい。この授業では、具体的「事実」と「哲学」的思考の双方を重視して、政治権力と人間の關係を考察したい。一方で、17世紀から現代に至るまでの国家による人権侵害の事例を考察し、他方では、権利概念を政治権力批判のための武器として鍛え上げるために、権利の哲学的基礎を探究する。これは、全体として、自由主義の思想的遺産を批判的に継承する作業である。こうして、人間の尊厳を守ることのできる政治学を築く手がかりをつかみたい。

**0112 政治学 (選・1・2年次・4単位・通年) 菊地理夫**  
**0113**

〔現代社会にかける権力と民主主義〕

政治とは普通の生活とは関わりのない、何か遠い世界の出来事と思われていないでしょうか。しかし、わたしたちの生活は政治との關係を抜きにして成立するのでしょうか。

とりわけ、民主政治とは、わたしたち一人ひとりが間接的、直接的に作り出していくものであるとともに、その結果から大きな影響を受けるものです。

前期では、特に政治権力について、それが民主政治とどのように關係するかを中心に説明し、後期では、現在の民主制度が実際にどのように動いているかを政党や選挙などを中心にして具体的に論じていきたいと思います。

**0014 政治学 (選・1・2年次・4単位・通年) 吉田達志**  
**0015**

〔現実問題を通じて本質へ〕

前期は、現在の国際政治状況を理解させる目的のために、第二次世界大戦後の国際政治の流れについて考察する。

後期は、現代日本社会の当面する政治的諸問題、——外交と世論、憲法、天皇、政治文化、民主主義等——について、哲学的、歴史的、文化的観点から多角的に論ずる。

## 【自然系列】

## 講義概要

0130 数学 A (選・1・2年次・4単位・通年) 文・外・法学部用

春藤修二

〔数とは何か、数学とは何か〕

諸君は高校までに実に多くの数学的知識を学んでいる。しかしたとえば有理数とはどのような数であるか適確に答えられない人が多い(考えてみて下さい)。よく知っている対象(数・図形等)を用いて、数について又数学について考えることを講義の目標としたい。従って数学の好き嫌い、予備知識などは問わないが、考えることの嫌いな人は敬遠したい。

0131

} 数学 B (選・1年次・4単位・通年) 文・外・法学部用

0138

(必・1年次・4単位・通年) 経済学部・経営学部用

新倉保夫

宮元忠敏

木村卓二

太田稔

春藤修二

〔微分積分学の基礎〕

微分積分学はその思想と内容の豊富さによって教養の数学にふさわしいと思う。高校数学に採り入れられているのもそのせいであるが、それが数学へのつまづきの原因にもなっているようである。本講義には必修・選択が混在していることを考慮して、その考え方を中心にしつつ、思考の訓練という面も強調していきたい。物事を筋道立てて考えることへの指向は必要である。テキストについては初回の講義において紹介する。

主な内容は次の通り。

- (1)極限 (2)導関数 (3)1変数関数の極大・極小 (4)Taylorの定理 (5)偏導関数  
(6)2変数関数の極大・極小 (7)微分積分学の基本定理

0139

0140 数学 C (必・1年次・4単位・通年)

松澤忠人

〔微分積分学の基礎〕

微分積分学を線形代数と並んで現代数学の基礎をなすものとしてとらえ、ゆつたりと学ぼうちに、数学的直感、素養を身につけることを目標とする。

実数の概念の直感的把握から出発して、一変数の微積分から多変数の微積分へ、そして基本的な応用に及ぶ。

0145 統計学 (選・1・2年次・4単位・通年) 岩橋亮輔  
〔記述から推測へ〕

国家の政治・経済についてのデータの収集・整理・要約から始った統計学は現代の情報化社会に生活していく上で欠かすことができない。適切な方法で収集されたデータを確固たる理論に基づいて、必要とする知識・情報を獲得し、これらを次の一歩を進めるベースにすることは、人間のあらゆる分野で積極的に行われている。

統計学はデータの要約方法を主とする記述統計学とデータが得られた背後にある、いわゆる母集団についての議論である推測統計学とに分かれる。記述統計学はこれまで詳述されることが少なかったが、コンピュータの普及によって、その重要性を増している。この講義では身近なデータに基づいて、記述統計学の基本的な概念と手法を解説し、推測統計学に話を進めて、後続の講義「数理統計学」にバトンタッチする。

平方根が計算できる電卓を必携のこと。

0146 統計学 (選・1・2年次・4単位・通年) 程島次郎  
〔データの解析と推測〕

統計学は現在ほとんどあらゆる分野で利用・応用されている。統計学の目的は、実際のデータを解析して私たちの直感が正しいかどうか確かめたり、新しい知識を帰納したりすることにある。

講義では現代統計学の基本的内容を解説し、統計的なものの見方が身につくようにすることを目的とする。数学の予備知識は特に要求しないが基礎から根気よくやることが大切である。

0151 物理学 (選・1・2年次・4単位・通年) 柏村昌平  
〔現代の物理学から見た自然像〕

なるべく数式を使わないで、現代の物理学が明らかにした自然像を説明する。光と量子、運動と力、エネルギーと温度、原子と電子、相対性理論、などのテーマを中心に説明する。教科書を用いないが、必要に応じてプリントを配布し、参考書を紹介する。

0155 化学 (選・1・2年次・4単位・通年) 山本正康  
0156 〔生活環境における毒性について〕

毒物とか毒性とは何かを中心テーマとして、日常生活に関連した化学物質の毒性

について講述する。

我々の生活環境の中には様々な毒物が存在する。まず一般的な急性毒である動物（フグ、サソリ等）や植物（キノコ、トリカブト）等の天然毒について解説する。さらに慢性毒や発がん性、発生毒等広い意味の毒性についても考えてみる。ついで医薬品との比較および麻薬、覚醒剤やシンナー等依存性薬物の医薬品の毒性や問題点も講述する。その他、生活環境の大気や水質汚染物質の問題、酸性雨やフロン、毒ガス兵器等公害関連を含めた環境毒性についても講究する。

0157 生物学（選・1・2年次・4単位・通年）定員30人  
0164

江本 純

〔生物学（実験を含む）〕

この授業は、文科系の大学にはほとんどない理科実験をふんだんに取り入れたプログラムです。毎回の実験をマニュアルに沿って勉強していくことで皆さんが苦手と感じている生物学の基本知識が自然と身につくように構成されていますので、試験は行いません。実験は多少とも時間が掛りますので9・10時限に延長しますが、ミクロの生命の神秘を楽しく勉強するにはしつかたありません。細胞の染色体や減数分裂、また電子顕微鏡（知らない人が多いが、南山大学には電子顕微鏡があります）の世界などを一度自分で観てみたいと思っている人は是非とも受講してください。

前期は細胞に焦点をあて、生命のもっとも基本的な活動である原形質流動、細胞分裂、受精、発生を観察します。この実験観察を通じてあなたは生命の生と死が生命活動の40億年の歴史の産物であることを知るでしょう。また後期は個体の体のメカニズムをマクロそしてミクロの世界として捉えます。特に電子顕微鏡での観察では全受講生に自ら操作を行ってもらいますので、たぶんあなたの生涯でミクロの世界を覗くただ一度のチャンスでしょう。

授業は下記の予定通りに行います。（日付は、火曜日／木曜日 となっています）

- 4月12/14日 白衣・実験道具貸与、年間スケジュールと実験における注意事項
- 19/21日 光学顕微鏡の操作法と訓練
- 26/28日 講義：性と世代交代 一体細胞分裂と減数分裂一
- 5月10/12日 体細胞および原形質流動の観察：タマネギの表皮細胞
- 17/19日 植物組織の観察：ムクゲの茎断面
- 24/26日 体細胞分裂および染色体の観察：タマネギの根端細胞
- 31/1日 減数分裂の観察：バッタの生殖細胞
- 6月14/16日 精子（異形精子）の観察：カワニナの精巢
- 21/23日 受精卵と胚の発生過程の観察：ウニの卵割
- 28/30日 原生動物（単細胞生物）の観察：シロアリの腸内共生生物

- 9月27/29日 多細胞動物の細胞分化の観察：ヒドラの体の構成細胞
- 10月4/6日 講義：脊椎動物の体のつくり
- 11/13日 脊椎動物の解剖（part 1）：ウシガエルの内臓諸器官
- 18/20日 脊椎動物の解剖（part 2）：ウシガエルの筋肉系
- 25/27日 脊椎動物の解剖（part 3）：ウシガエルの骨格系
- 11月8/10日 電子顕微鏡のデモストレーション：ミクロの世界をのぞいてみよう
- 15/17日 講義：電子顕微鏡のしくみと試料作成（花粉、毛髪、その他）
- 29/1日 電子顕微鏡の操作(受講者全員)とミクロの世界の観察：花粉の構造
- 12月6/8日 無脊椎動物の解剖（part 1）：モンシロチョウの外部形態
- 13/15日 無脊椎動物の解剖（part 2）：モンシロチョウの内部形態
- 20/22日 最終講義：遺伝子と遺伝子操作(そのあとシンポジウム、忘年会)

実験をもとにした理科系の授業スタイルに触れてみたい人、細胞分裂を自分の目で観てみたい人、また電子顕微鏡という科学技術の最先端にふれてみたい人は是非とも登録することを薦めます。

0158

0162

0165

0166

生物学（選・1・2年次・4単位・通年）

江田 信豊

## 〔生物の多様性と進化〕

地球上には様々な生物が生息しておりその遺伝様式、生活様式は生物によって多岐に分化している。また生物は生存し繁殖するために、その種をとりまく環境や他の生物と相互に作用しあっている。講義では生物をとりまく地球の環境（古生物の古環境を含む）を解説し、生物がどのような過程をへて現生の生物へと進化してきたかを、脊椎動物、特に恐竜絶滅の謎や人類進化にスポットをあてて紹介していく。

0159 生物学（選・1・2年次・4単位・通年）

江本 純

## 〔生命の起源と遺伝子〕

生命はいつ、どのようにして誕生したのだろうか。地球が誕生してからすでに46億年が経過した。私たちが多少詳しく知っている地球の過去は、実はたかだか6億年にすぎない。なぜなら地球の過去の姿は、多くの場合生物化石によって解明されてきたからで、6億年よりも昔の化石はほとんど発見されていなかったからである。

近年数十億年前の微化石の研究が進み、今私たちの前に、有機物質の生成に続く生命誕生のシナリオが解き明かされようとしている。

また、分子生物学の発達は生物の遺伝子を正確に解読するまでに至り、今私たちの細胞に刻まれた40億年の生命史を明らかにしつつある。

講義ではまた、遺伝子操作や遺伝子治療にもふれる予定である。

0160  
0161 生物学 (選・1・2年次・4単位・通年) 阿江 茂  
0163

〔自然の中の蝶と人の生物学〕

環境の悪化から私達の身のまわりの蝶などが姿を消しつつあるとよく言われる。しかし人間の自然とのつながりの歴史は、常に人間にとつて有利な生物のみをふやし、他を亡しつづけているのではなく、もっと複雑である。アゲハチョウの仲間の自然の中での生活をみながら、生物について考えなおし、その一種であるヒトが豊かな未来をきずいてゆくための生物学を考えたいと思う。このような事柄の基礎的な理解の上になつて、分子生物学、遺伝子工学も人類の希望となり、環境問題をも克服できると言う面よりこのような分野にもふれる。

0168  
0171 心理学 (選・1・2年次・4単位・通年) 泉 ひさ

〔発達を中心として〕

心理学の基礎的内容としての感覚・知覚・記憶・知能・思考・想像・創造力・才能・欲求・感情・人格・性格、および実生活の応用的内容として大学生活への適応、職業選択、性と性差、恋愛と結婚について考察をすすめる。

テキスト：泉 ひさ『心理学入門：発達を中心として』（ナカニシヤ出版）

0169 心理学 (選・1・2年次・4単位・通年) 伊藤 篤

〔発達の過程と学習の原理を知る〕

人の表出行動を詳しく調べたり測定したりすることで、その人の内面で何が起きているのかを明らかにしようとする方法論をとる学問はかなりある。医学、生理学、身体科学などは、この範囲に含まれる。心理学もこのような手段をとる学問であるが、内面で起きているものが、先にあげた諸科学のように実体を伴わない点で性質を異にしている。本講義では、人間の示す行動の変化を、スピードに個人差はあるものの、おおむね一定順序で一定方向に進む「発達」と、環境条件によって獲得されたり、されなかったりする「学習」とに分けて、それぞれ前期・後期に解説していく予定である。

0170 心理学 (選・1・2年次・4単位・通年) 石田 裕久

〔行動科学〕

人間行動の科学的解明をめざす心理学についての一般的知識を得るために、さまざまな問題領域におけるトピックを参照しながら、その基礎となっている理論・考え方を概説する。

参考書：村田孝次『教養の心理学』（倍風館）

若松ほか編『テキスト心理学』（福村出版）

0172 心理学 (選・1・2年次・4単位・通年) 神谷俊次  
〔行動科学〕

現代の心理学が対象としている領域(発達、知覚、記憶、思考、言語、学習、知能、人格など)について基本的な知識とともに最近の成果や動向を概説する。

テキスト: 若松ほか編『テキスト心理学』(福村出版)

0173 心理学 (選・1・2年次・4単位・通年) 伊藤康児  
〔心の働きあれこれ〕

心理学は楽しい学問です。わたしを知り、あなたを知り、たがいに助け合ってくるこの世界のなりたちを見とおす学問だからです。大いに楽しみながら学びましょう。テキストは講義の中で指示します。

0175

0176 科学概論 (選・1・2年次・4単位・通年) 横山輝雄  
0177

〔科学技術文化論〕

19世紀以降の科学技術の発達は、欧米や日本において文化や生活に大きな影響を与えた。

前期は、ダーウィン以降の進化論が、人間論・社会思想・宗教とどうかかわったか、日本や中国の伝統思想と進化論との関係はいかなるものであったかについて述べる。

後期は、19世紀に欧米で開始された万国博覧会によって方向を示された科学技術と生活文化との新たな関係が、人々の日常生活や行動形態をどのように変化させたかを、欧米と日本の事例を比較しながら検討する。

0181

0182 科学史 (選・1・2年次・4単位・夏期集中+後期)

0183

小林傳司

〔日本における科学の社会史〕

日本は世界有数の科学技術先進国になっている。しかし、ほんの数十年前までは、科学者自身を含む多くの知識人が、日本の科学技術の後進性を憂いていたのである。本講義では、日本の科学の歴史を取り上げることにしたい。明治から大正、昭和の日本の科学技術の特質を具体的な例を使って考えてみよう。高校の理科の知識などを要求はしないので、理科は苦手だと敬遠せず、気楽に参加してほしい。参考文献は講義の時に紹介する。

0185 地球科学 (選・1・2年次・4単位・通年) 前期 大畑 哲夫  
0186 後期 濱 健夫

〔地球の過去・現在・未来〕

地球は長い歴史の中でたえず変動を繰り返してきている。我々の目に映るその姿は現在のものであり、一万年前あるいはそれ以前とは様相を異にする。またその変化過程は複雑で、一万年後どのように変化するかはまだまだ解明できていない。

本講義は、地球の歴史的变化を、その中に内在する物理過程・化学過程を通して理解してもらうことを目的とする。主として環境としての大気圏、海洋や湖などの水圏、そして氷河や南極に代表される雪氷圏を中心に地球の姿を紹介し、それから導かれる地球の歴史を解明していく予定である。

## 【総合科目】

## 講義概要

0191 総合科目 I [生命と環境] (選・1・2年次・4単位・通年)

授業予定表 (毎週金曜日7・8時限)

月・日	担当者	題 目
4月8日	土田友章	生命倫理への招待
15日		
22日		
5月6日		
13日	家本博一	ロシア・東欧の体制転換と社会倫理
20日		
27日		
6月3日		
10日	阿江茂	人間の生と死 — 自然科学から —
17日		
24日		
7月1日		
9月30日	水谷重秋	環境と経済学
10月7日		
14日		
21日		
28日	泉ひさ	性と環境
11月11日		
18日		
25日		
12月2日	内藤克彦	文学における生命と環境
9日		
16日		
1月13日		

## 〔生命倫理への招待〕

土田友章

1. 今、死が我らから奪われ・・・
2. 科学技術としての医療と人間
3. 日本人の「倫理的」意識と行動
4. 人間としての死と生

## 〔ロシア・東欧の体制転換と社会倫理〕

家本博一

&lt;内容&gt;

- (1) 「脱社会主義」の体制転換—ロシア連邦と東欧各国
  - ① 「脱社会主義」の現実—「1989年東欧革命」、「1991年ソ連邦解体」以後の現実
  - ② 「脱社会主義」の問題性—幻想から幻滅へ
- (2) 「脱社会主義」の体制転換と愛国主義、民族主義
  - ① 「三つの連邦」の解体—旧ソ連、旧チェコスロヴァキア、旧ユーゴスラヴィア
  - ② 民族対立から民族紛争、民族浄化へ
- (3) 「脱社会主義」の社会倫理
  - ① 新中間層の形成可能性
  - ② 政教分離原則の存続可能性
  - ③ 社会倫理の成立可能性

&lt;テキスト&gt;

\* 家本博一著『ポーランド「脱社会主義」への道』、(名古屋大学出版会、1994.1)

## 〔人間の生と死—自然科学から—〕

阿江茂

少なくとも人間の肉体の生と死は自然科学に基礎をおく問題である。講義の始めに当って自然科学における人間の生と死についての理解を整理する必要がある。また環境も自然科学に基礎をおく問題であるので、この面にもふれつつ話を進めたい。

## 〔環境と経済学〕

水谷重秋

リポート開発による環境破壊や地球的規模での環境破壊は早急にその解決が求められている現代的課題である。これまでの経済学はそのような問題にどのように接近してきたかを紹介しつつ、真の解決法を探究する。

## 〔性と環境〕

泉ひさ

性に関することが隠蔽される傾向の強い従来の風潮に反し性を露骨に表現している現在の社会環境がかもし出している種々の性問題に真剣に取り組む必要がある。そこで人間の性 (Sexuality) と環境との関係について人間学的見地に立ちつつできるだけ科学的に掘り下げて考察をすすめたい。

## 〔文学における生命と環境〕

内藤克彦

人間とは何か、生とは何か、を究極のテーマとする文学は、人間の生が環境とのかかわり合いなしには成立し得ないものである限り、人間的生と環境との問題は、文学作品の対象とする世界やその取り扱い方によって、色調や濃淡の差はあるにしても、常に同時に文学の問題でもある。本講では、この問題について、ドイツの代表的な作家・思想家シラーの生活と作品を通して考えてみることにしたい。

## 0192 総合科目Ⅰ〔国際関係論〕（選・1・2年次・4単位・通年）

## 授 業 予 定 表 （毎週金曜日7・8時限）

月・日	担 当 者	題 目
4月8日	岩 島 久 夫	現代国際政治の基本構造と日本  試 験
15日		
22日		
5月6日		
13日		
20日		
27日		
6月3日	明 石 陽 至	東南アジア・中国・ソ連・日本  (試験は前期定期試験期間に行う)
10日		
17日		
24日		
7月1日	家 本 博 一	ロシア・東欧各国の「脱社会主義」への道 －民主化と市場経済化への「幻想」－  試 験
9月30日		
10月7日		
14日		
21日		
28日		
11月11日	渡 邊 頼 純	国 際 関 係 の 政 治 経 済 学
18日		
25日		
12月2日		
9日	松 下 洋	ラテンアメリカと国際関係 (渡邊・松下両先生の試験は後期定期試験 期間に行う。試験時間は90分。)
16日		
1月13日		

## 〔現代国際政治の基本構造と日本〕

岩島久夫

ヤルタ体制が崩壊し、世界は「新秩序」を求めてある意味では「混乱」状態におかれているといってもよいだろう。この時期に、冷静かつ客観的に戦後の「冷戦」から「冷戦後」へと急激に変容しつつある世界の構造を、「北極中心世界地図」を使って解明し、その中で「日本外交」を位置づけ将来を展望してみたい。

## 〔東南アジア・中国・ソ連・日本〕

明石陽至

ASEAN（東南アジア諸国連合）を中心として、地域を廻る大国との関係を地域内の連帯について考察する。

## 〔ロシア・東欧各国の「脱社会主義」への道—民主化と市場経済化への「幻想」〕

家本博一

〈内容〉

## (1) 「脱社会主義」の体制転換

① ロシア・エリツィン政権の場合

② 中東欧三国（ポーランド、ハンガリー、チェコ）の場合

## (2) 「脱社会主義」の問題性

① 「脱社会主義」への幻想から幻滅へ

② 「脱社会主義」=再資本主義化の可能性

## (3) ロシア・東欧各国の変革過程

① 改革先進地域としての中東欧三国

② ロシア・エリツィン改革の功罪

〈テキスト〉

\* 家本博一著『ポーランド「脱社会主義」への道』（名古屋大学出版会、1994.1.）

## 〔国際関係の政治経済学〕

渡邊頼純

4回講義を担当するが、前半では「西欧国家体系」や「パワー」の概念に焦点を当てつつ国際関係論の基本を学習し、その上で国際関係に現象する政治と経済のリンク（連繫）に論及する。後半ではGATTやIMFを中心としたマルチラテラリズム、ECやEFTAのようなリージョナリズム、米加自由貿易取極に見られるバイラテラリズムなど現代国際経済体制を構成する主要な原理・原則を最近の動向も踏まえながら構造的に分析、解説する。

参考文献：F. シューマン『国際政治論』（長井信一訳、東京大学出版会）；G. H. カー『危機の20年』（井上茂訳、岩波書店）；川田侃『国際関係の政治経済学』（新NHK市民大学叢書2）；西川潤『世界経済入門 第二版』（岩波新書）。

## 〔ラテンアメリカと国際関係〕

松下 洋

冷戦から冷戦の終結に至る間の国際政治の動きがラテンアメリカの国際関係にいかにかに投影されてきたかを探る。冷戦期において、ラテンアメリカはキューバ危機（1962年）を除けば東西問題との関係は薄かった。むしろ南北問題に力を入れ、民族主義を掲げ、北と対決しながら南側を主導してきた。しかしながら、80年代以降冷戦構造が次第に崩壊するなかで、ラテンアメリカ諸国は債務危機などを契機として民族主義を後退させ、南北問題では北との協調姿勢が顕著となっている。その一方で米国とキューバの間の対立が続き、リージョナルな冷戦がなお残存している。こうした経緯から授業では、南北問題や、ラテンアメリカにおける民族主義、キューバをめぐる国際関係などを主なテーマとする。

0193 総合科目 I [男性と女性] (選・1・2年次・4単位・通年)

授 業 予 定 表 (毎週金曜日5・6時限)

月・日	担 当 者	題 目
4月8日	江 本 純	生物の性は“非常識”の世界
15日		
22日		
5月6日	安 田 文 吉	文学・芸能・歌謡からみた男と女
13日		
20日		
27日		
6月3日	泉 ひ さ	心理学からみた男性と女性
10日		
17日		
24日	酒 井 朗	学校教育における男性と女性
7月1日		
9月30日		
10月7日	岩 見 恒 典	身体活動における男女差
14日		
21日		
28日	杉 本 良 男	男性 / 女性, 文化 / 自然
11月11日		
18日		
25日	松 倉 耕 作	男女関係と法律知識
12月2日		
9日		
16日	小 林 博 司	科学技術と男性・女性
1月13日		

[生物の性は“非常識”の世界]

江 本 純

なぜ、オスとメスのふたつの性しか存在しないのか、男と女以外にも3つも4つも性があったとしたら、実に奇妙な感じがするが、不合理なのだろうか。本当にオスとメスというふたつの性で生物界はうまくいっているのだろうか。なぜオスとメスがなくてはならないのか等々。男と女、オスとメス、おしべとめしべ。私たちを

取り巻く生物の世界ではこのふたつの性の存在はごくあたりまえであるが、授業ではこの常識そのものに疑問を持つことから始めよう。

もし生物が子孫を繁殖させながら存続しつづけるものであるなら、すべての個体が子を生めるほうがいいに決まっている。つまり子供を生めない男は無用の長物に違いないということになる。実際、単為生殖といってオスがいらなくてもメスだけで子供をつくる生物はけっこう多い。それでも男は必要なのか。

授業では、ある現実の生物が4種類あるいは8種類の性を持つという事実から出発し、性の起源、そして生物の存続に重要な機能をはたしているオス・メスの役割を論じていく。

### 〔文学・芸能・歌謡からみた男と女〕

安田文吉

文学・芸能・歌謡作品に描かれた男と女のあり様を、特に中世・近世を中心に考える。歌謡については記紀歌謡・梁塵秘抄・閑吟集・松の葉などを、芸能については、歌舞伎・浄瑠璃から『仮名手本忠臣蔵』『鏡山旧錦絵』『心中天の網島』などを、文学については源氏物語・とはずがたり・好色一代男・雨月物語などを素材として検討する。

### 〔心理学からみた男性と女性〕

泉ひさ

男性と女性の心理的特徴(知的面、感情面、性格面、性意識面など)及び性別割の違いについて考察すると共に、現代社会における男性と女性をめぐる諸問題について心理学的解明を試みる。

### 〔学校教育における男性と女性〕

酒井朗

現代社会において学校は人々に様々な知識や態度を内面化させるとともに、多様な進路へと人々を振り分ける働きを有している。本講義では、このような働きを持つ学校が、それぞれの性の子どもたち、あるいは青少年に何を教えているのか、また彼らの進路選択にどのような影響を及ぼしているのかについて検討する。どのような領域でもそうだが、表面に現れていることと本当のことは案外違うものだ。講義では、学校教育の持つそうした隠れた作用に特に注目していきたい。

### 〔身体活動における男女差〕

岩見恒典

体力を身体的な能力と定義した場合、スポーツの場面で必要な、走る・跳ぶ・投げる・打つなどの動作である積極的な能力(運動能力)を行動体力と呼んでいる。スポーツ活動に限らず、姿勢を変えたり、移動したり、物を運んだりする身体的な活動として、われわれが外界に働きかける場合、その直接の担い手は筋であり、筋の収縮力が骨格によって形成される関節を介してなされた結果である。したがって身体運動は、その基盤となる形態(体格・体型など)と機能(呼吸・循環・筋・神

経など)の緊密な連携によってなされた成果といえよう。

今年度の講義は身体活動における男女間の差異について、これまでの報告されている研究成果を中心に次のような観点から考察する。

- (1)身体的活動の基盤である解剖学的な視点から
- (2)呼吸・循環機能や筋機能を中心に生理学的な側面から
- (3)運動能力や競技成績について運動の成果という面から

#### 〔男性／女性，文化／自然〕

杉本良男

人類は雌雄性のある動物であり、両者の異った生殖機能を通して種を維持している。一方、人間社会では、男性と女性をさまざまなやり方で分類し概念化し、さらには両者の関係を制度化している。

本講では、人間の生物的条件に基礎をおきながら社会文化的に制度化されている男／女の問題を、自然／文化の二元論の中で文化人類学的に考察する。とりあげる主題は、(1)分類体系としての男／女、(2)インセスト・タブーと婚姻、(3)母権と母系、である。

#### 〔男女関係と法律知識〕

松倉耕作

不貞(不倫)をすると、どのようなサンクションがあるのか、妻が夫以外の男の子を産んだ場合、子の父は誰と扱われるのか、婚姻(=結婚)前に子が生まれたが、男性が逃げまわる場合、どうすれば男に責任をとらせることができるか、などにつき、具体的事件と諸外国の法制(ドイツ、イギリス、スイスほか)を概観する。

教材：講義の折りに、レジュメを配布する。

参考文献：講義の折りに提示する。

#### 〔男性と女性〕

小林傅司

男性と女性では科学技術に対する関わり方が違うのかどうかを、歴史上の事例や、現在の日常生活の事例、諸君らの意識などを素材にして考えます。諸君の意見を表現する機会を多くしたいと思っています。

## 総合科目Ⅱ〔人間論〕 (必・2年次・4単位・通年)

担当者	題 目
阿江 茂	人間と環境
倉田 信子	フランス文化とフランス人
長倉 久子	自己について
蒔苗 暢夫	古代・中世における人間論
加藤 泰史	歴史と文化
細谷 博	文学に描かれた人間像
中矢 俊博	経済学と人間
佐々木 亘	人間と自由
大森 正樹	人格をめぐる諸問題
田村 均	倫理と文化
赤松 宏	実存主義思想の系譜
松井 良和	人間と自然
桑原 直己	人格とその尊厳について
藤岡 俊子	生命(いのち)と論理(ことば)
蛭田 庸代	トランス・モダンの自画像
森際 康友	〈われわれ〉についての人類学
佐藤 信行	文化倫理学の試み
山田 秀	音楽の心・ベートーヴェンの思想と精神的
杉田 谷道	発展
藤田 一美	〈存在と意味〉から〈意味と存在〉へⅣ

## 0196 〔人間と環境〕

阿江 茂

生物の一種としての人間は、昔きびしい地球の環境の中で、伝染病の病原体などもふくむ他の生物と争いながら、その種を維持しつづけてきた。しかしその後次第に他の生物をおしのけて環境を独占するようになった。しかし現在の人間も他の生物と共存しなければ、食物もよい空気も得られない存在であるので、いろいろの面においてジレンマにおちいっている。この問題をその基礎科学としての生態学(Ecology)により考察し、また「環境保全」「公害」などの現実の問題にふれながら、この面より人間について考えてゆく。

## 0197 〔フランス文化とフランス人〕

倉田 信子

フランスの地理、現代フランス事情、ガロ・ロマン時代から現代までのフランス文化史、日仏文化交流史などを、スライドを見ながら説明する。フランス文化の基礎知識の解説から始まって、更に、このような文化を生んだフランス人とはいかなる民族か、その精神とはどのようなものなのかを探る。時々、簡単な小テストを課する。

0198  
0212 〔自己について〕

長倉 久子

我々は種々様々な移り変わり過ぎ行くものとの出会いの中で生きている。そして我々自身も移り変っているが、しかし、それにも拘らず一人一人つねに「私」（自己）として止っている。この自己とは何かを巡って哲学や宗教は様々な角度から探究を続けてきた。西洋哲学史の流れの中で、この自己の問題がどのように提起され、どのように考察されてきたか、この一年間、時間の許す限りで探究してみよう。

## 0199 〔古代・中世における人間論〕

蒔苗 暢夫

今日我々がかかえている、愛、技術といった問題を、古代・中世の思想を手がかりに、その根本から考察する。

## 0200 〔歴史と文化〕

加藤 泰史

「歴史」をめぐる哲学的・方法論的問題を考察すると同時に、現代日本およびヨーロッパの歴史学がもたらした具体的な諸成果を概観することによって、「文化」がどのように捉え返されてゆくのかについて具体的な事例に即して検討する。

## 0201 〔文学に描かれた人間像〕

細谷 博

近代文学の名作を読み味わい、そこに提示された様々な人間の姿と生き方、さらにその描かれ方を見つめることによって、言葉による人間把握とは何かを考える。本年度は谷崎潤一郎の作品に描かれた「普通の人々」について考察する。

## 0202 〔経済学と人間〕

中矢 俊博

過去の偉大な経済学者は、人間というものをどのように把握してきたのだろうか。人間というものは、もともと道徳的にも優れており、社会のルールをかならずや守るものであり、そうした前提に立ったうえで、自分自身の自利的な行動を追求することが、ひいては社会全体の調和を保つことにもなると考えた人がいる。また、人間を精神的にも、道徳的にも、完成途上にあるものと見て、それらを覚醒させることが最も必要なことだとし、苦勞をすること、すなわち額に汗して働くこと等が、人間を人間らしくすることだと考えた人もいる。人間というものは、理性的存在で

あるから、合理的に行動するに違いなく、他人の言動には影響されないと考える人もいれば、そうではなく他人の言動にほとんど左右されるのが人間だと考える人もいる。このクラスでは、過去の偉大な経済学者の人間観に関する分析を通じて、人間というものを考察してみる。

**0203** 【人間と自由】

佐々木 亘

“自由”は、現代に生きる我々の行動を、最も特徴づける言葉の一つであるように思われる。しかるに、そもそも、人間が持ち得る“自由”とは、いったい何であろうか。

本講義では、主に西洋古代・中世における人間論を手がかりにして、身体を持った人間が有する自由の意味について、人間疎外や性に関する今日の問題への展望を探りながら、可能な限り考察して行きたい。今年度は、また、“愛”の意味についても、ふれていきたい。

**0204** 【人格をめぐる諸問題】

大森正樹

我々が西洋思想に出会う時、必ず問題となるのは「人格」という考え方である。言葉では何となくわかったつもりになっている「人格」をはたして我々は理解しているのだろうか。又、西洋的に捉えられたもののみが「人格」の真の姿なのだろうか。以上のことをめぐって少し考えてみたい。

**0205**  
**0213** 【倫理と文化】

田村 均

倫理に関する普遍主義と文化相対主義の問題を考える。個人、自由、意思、責任といった社会生活に関わる基本的カテゴリーを取り上げて、多様に分岐するこれらの概念の意味の諸相を、具体的行動の文脈の中でとらえることを試みる。

**0206** 【実存主義思想の系譜】

赤松 宏

実存、自由、主体性、不安、絶望、死、単独者、水平化、ルサンティマンといった概念は、それぞれの実存主義思想家が関心をもち、それぞれ独特の意味をこめて使用し、とらえ深めていった概念である。現代思想に大きな影響を及ぼした実存主義思想家、キェルケゴール、ニーチェ、ハイデガー、サルトルなどの思想を、可能なかぎり詳論したい。

**0207** 【人間と自然】

松井良和

和辻哲郎はその古典的名著『風土』において、人間の生き方を「モンスーン」型、「砂漠」型と「牧場」型に分けたが、それは結局、人間と自然の関わり方の分類にほかならなかった。この講義はそれぞれの類型における自然観を『荘子』、『旧約聖

書』とプラトンの『ティマイオス』の中から取り出して、和辻の分類の妥協性を問  
いなおすと共に、人間にとっての「自然」の本質的な意味を考察する。

- 0208 〔人格とその尊厳について〕 桑原直己  
「人格」およびその「尊厳」の概念の起源について考察する。

- 0209 〔生命（いのち）と論理（ことば）〕 藤岡俊子（前期）  
0215 蛭田庸代（後期）

人が人間らしく生きるとはどういうことなのか、を生命科学・人間関係・体験学  
習の視点からとらえてみる。その為に、いのちの誕生・出産・教育・関わり・出会  
い・死などのライフサイクルの諸段階に於ける生命観・女性観・男性観の見直しや、  
先端医療技術・バイオエシックスの課題分析を通して、生・死の定義を私達現代人  
はどのようにしているかを探る。

自分を見つめることとグループと共にいることを重視し、アサーション（自己表  
現）トレーニングを試みたい。

- 0210 〔トランス・モダンの自画像〕 森際康友

現代国際社会における日本の立場と課題は、「和魂洋才」の精神で近代国民国家  
の体裁を整えるべく邁進してきた我が国の歴史の帰結である。そのような目で来し  
方をふりかえり、今後の我が国の人倫（公共倫理、政治道徳）の体系とそこでの個  
人としての価値観・行動原理について考えてみたい。本年度は、シナリオ分析とビ  
デオ資料を重視し、前近代・近代・脱近代の要素をトランス・モダンな感覚で折り  
込みつつある社会的存在として現代日本の人間像を描いてみたい。

参考書：森際他編著『人間的秩序』（木鐸社、1987）

B. ウィリアムズ著『生き方について哲学は何が言えるか』（産業図書、  
1993）

- 0214 〔くわれわれ〕についての人類学〕 佐藤信行

ー く彼らとく我らとの間ー

く彼らをく我らと劃するために用いてきた社会科学上の論理と倫理とは何で  
あり、何であったのか。

学として後発の文化人類学が構築してきたキ・コンセプト群に風化が目立ち始  
めている。それで詩的転換の契機をトピックス・アナリシスにもとづきながら問  
質してゆきたい。感性の豊かな学生の参加を望む。

- 0216 〔文化倫理学の試み〕 山田秀

伝統的自然法論の観点から、文化（倫理学）の問題を考察してみたい。先ず、そ

の前提として、良心、自然法、習慣（徳、悪徳）、倫理秩序の問題を取上げる。しかる後に、「文化」を「生のかたち」、「価値秩序」、「課題」の三側面から考察する予定である。

0217 〔音楽の心・ベートーヴェンの思想と精神的発展〕 杉田 谷 道

音楽は聖アウグスティヌスによれば「魂を神性に向わしめるための神よりの賜もの」であり、孔子は「詩書礼楽」（詩に興り 礼に立ち 楽に成る）と音楽による自己教育の完成、を訓いた。音楽の心とは「和の心」であり、ロゴスの豊妙なハーモニーをつくる「心から心へ」のもっとも純粹で高尚なコミュニオン（Communion）である。

ベートーヴェンの32のピアノソナタは音楽の新約聖書に譬えられるが、それは自己の内奥に聴いたVox Dei（神の声）を完全な形式において誌し、一つのもの（Ding an sich）を最後まで追求した彼の精神的発展と、心の勝利の証しであるからである。

この講座では主要なソナタを選び、実際のピアノ演奏によって、音符の背後にある意味、イデーの発展と形式を解明し、ベートーヴェンの心を探る。人類友愛のシンボルであるベートーヴェンを知ることは、芸術のみならず人間の生き方、求道へのインスピレーションとなるであろう。

テキスト：ロマン・ロラン著『ベートーヴェンの生涯』（岩波文庫）、『ベートーヴェン研究』（みすず書房）或は『ロマン・ロラン全集』23、24巻『ベートーヴェンピアノソナタ集（原典版）』又は『ポケットスコア』（音楽之友社）

（附記）

聴講者は楽典の基礎知識とスコアの読譜ができることが希ましい。

0218 〔〈存在と意味〉から〈意味と存在〉へⅣ〕 藤田 一 美

現代における藝術の存在論的位相と世界史的意味

実存主義のひとつの重要な命題は〈実存（existentia）は本質（essentia）に先立つ〉ということであった。この言葉の系譜はひとつにはニーチェの「目的や統一性あるいは存在という、それをもって我々がこの世界に価値を置入れたそうしたカテゴリーが再び我々から抜き去られてしまう——そして今や世界は価値なきものと見える」という言葉がある。そして現代は一昨年度よりの講義でも述べたように、様々な諸理念が帰属するトポスを喪失しているかに思える時代である。ある意味で、ポストモダン社会と言われる現代において、人や芸術はこの世界の中で自己の意味をどのように帰着させようとしているのか。或いはむしろそもそもそのようなことを目指してはいないのか。政治の世界が理念よりは手段を、論理よりは操作のレトリックを弄んでいるのと並行して、我々の文化も、折々の意味が現れては消えるような、一面では豊かな、他面ではアトポスな、不安な浮遊を楽しんでいるように見

える。このような時代の政治上及び文化上の状況を〈存在〉と〈意味〉或いは〈主語〉(ないし〈基体〉)と〈述語〉そして〈世界〉と〈個体〉という対概念を思考軸として考えてゆきたい。

本年度は、とりわけ〈世界述語〉としての藝術の問題を、〈イロニーの述語〉や〈基体なき内在者〉あるいは〈二重の枠構造〉の概念を用いながら説明をこころみる。

## 【キリスト教概説】

## 講義概要

0221 キリスト教概説（特）（必・1年次・4単位・通年）（神学科用）

久松英二

本講義はキリスト教神学を学ぶために必要な基礎的な知識を獲得させることを目的としている。そのために、まず宗教一般について概観し、次いで、キリスト教成立の母体となったユダヤ教の個有性を確める。さらに同宗教との関連におけるキリスト教の独自性を把握する。最後に教理伝承の中からとくに重要と思われる概念を幾つか紹介したい。

0222  
0245 キリスト教概説（必・1年次・4単位・通年） 寺田正親

〔映像に学ぶキリストの心：「ともに、喜びをもって生きる」〕

英語教育が文法より会話重視に変わってきたように、キリスト教の勉強も掟や教義より生きること、特に、ともに喜びをもって生きること中心に進められるべきでは？ 又、理論よりも事柄の中に神を感じると日本人の習性に沿った手立てはないものか？ 更に、活字より映像文化の中に育った若者のスピード・リズム感にあった視聴覚教材とは何か？～こういった思いから厳選・体系化されたビデオフィルムを極限まで使い、毎回、聖書の言葉をキーワード＝光とし、更に、ペーパーダイアログによってこれを深め、歴史、特に、現代生活の中に息づくキリストの心と生命を具体的に追体験しようとするもの。

0223  
0246 キリスト教概説（必・1年次・4単位・通年） 狩浦正義

- (1)人間の精神活動の営みの中での宗教の機能。信じることの意義について考察する。
- (2)古代イスラエルの信仰とキリスト教の教えとの関連について講述する。

参考文献は講義の中で紹介、聖書（旧約・新約）を持参するように勧める。

0224  
0230  
0240 キリスト教概説（必・1年次・4単位・通年） 五百旗頭 博治

1. 宗教・宗教学への案内（前期）： 宗教とは何か、宗教学とは何か、それらと哲学・文学・芸術との関係、キリスト教と他の宗教との関係等に触れた後、代表的哲学者・神学者・文学者・歴史学者等の宗教観・人生観を作品を通して学ぶ。
2. 旧約聖書への案内（後期）： 先ず、聖書の名称と正典、イスラエルの地理と

歴史のアウトライン、聖書を構成する資料等について説明する。続いてテキストに基き旧約聖書の主要思想を学ぶ。関連的にキリストの思想やキリスト教神学への展開についても補説する。

テキスト：聖書（後期）

**0225** キリスト教概説（必・1年次・4単位・通年） 青山 玄  
**0244**

キリスト教成立の歴史的地盤：信じることはどういうこと、聖書はどういう本、などの問題を扱った後、旧約聖書の創造物語、アブラハム物語、出エジプト記などから始めて、特に旧約時代末期のユダヤ史とキリスト教成立の事情、ならびにその宗教的特徴について考察し、時間があれば、初期キリスト教史についても扱う。文献は講義の中で紹介するに留め、教材の一部はプリントで配布する。後期には新約聖書も使うので、受講者にはその時新約聖書の持参が勧められる。

**0226** キリスト教概説（必・1年次・4単位・通年） E. Rucker

聖書の講読にもとづいて、宗教現象を考究する。

とくに、次のような宗教文化的な概念を分析して、キリスト教の信仰を紹介する：神の民、啓示、創造、罪、悪、救い、預言者、信仰、並びに：愛、死、良心、祈りなど。

**0227** キリスト教概説（必・1年次・4単位・通年） 高山 貞美  
**0243**

〔キリスト教的人間理解について〕

1. 旧約聖書創世記の解釈に基づいて、キリスト教的人間論における人間の創造、人間の本性、人間の(原)罪について考察する。
2. 上記の考察を経て、新訳聖書におけるイエス・キリストに焦点を合わせ、人間の救い、罪の赦しの理解を深めることにする。

テキスト：聖書（旧約・新約）

**0228** キリスト教概説（必・1年次・4単位・通年） 石脇 慶 總  
**0242**

初めて「キリスト教」に接する人々を想定して、キリスト教とは、どんな宗教なのかということ、古イスラエルの時代から時の流れに従って概観し、最後に、第二バチカン公会議の『現代世界憲章』を拠り所に「キリスト教倫理」の若干の問題点を考察する。アカデミックな講義でなく、宗教放談的に展開したい。受講者の積極的参加を求める。

0229 キリスト教概説 (必・1年次・4単位・通年) 枝村 茂  
0234

キリスト教は一つの宗教的文化現象であるという前提にたつて、前期は宗教の定義、宗教現象、宗教の機能、類型等について論述する。後期は、キリスト教の起源としてのイスラエル教の歴史的背景と、キリスト教への発展の系譜を明らかにする。次にイスラエル教とキリスト教の信仰の源泉としての聖書について説明し、聖書の根本的理念、神への道、創造、キリスト教的人間観、悪、罪、死と救いの問題について論述する。

0231 キリスト教概説 (必・1年次・4単位・通年) 五味 巖

「キリスト教概説」と言う大きなテーマを前にして、その根幹に迫りながらも、ある程度の身軽さをもって授業を進めたいと思います。教材は、旧約聖書の創世記と新訳聖書のマルコによる福音書を使います。学年前期に取り上げる創世記は、紀元前千三百年ごろ、エジプトの地で寄留の民であったヘブライ人に伝えられた古代からの伝承を集録したものと考えますが、その内容の豊かさは、今日に於いても、なお、拡大し続けています。学年後期のマルコによる福音書では、キリスト逝去後、二・三十年ごろの初代教会のキリストに関する伝承を考察したいと考えています。

0232

0236 キリスト教概説 (必・1年次・4単位・通年) W. Dunphy  
0241

聖書の内容およびキリスト教の概括的な歴史を紹介した上で、キリスト教における神概念と世界観・人間観を考える。

テキスト：聖書(旧約・新約)

0233

0238 キリスト教概説 (必・1年次・4単位・通年) M. Calmano

南山大学の教育理念である「HOMINIS DIGNITATI」(人間の尊厳のために)という言葉の底流をなす、旧・新約聖書とキリスト教の精神と「信仰」を概説する。

0235

0239 キリスト教概説 (必・1年次・4単位・通年) J. Schubert

〔人類と共に歩む神〕

前期において、神との関わり合いを世界の大宗教を通して認識させた上、旧約聖書の契約、及び選民の歴史を旧約聖書の抜粋でもって説明する。

後期は、特に預言書に基づいてイエズス・キリストの到来を説き、メシアの役割を鑑み、旧約聖書と新約聖書の内容的一致に重点を置く。

テキスト：旧約聖書抜粋、及びプリント、新約聖書

0237 キリスト教概説 (必・1年次・4単位・通年) 久松英二  
0247

キリスト教はまず一つの宗教的文化現象であるという前提にたつて、人間社会における宗教の機能を考察する。次に、キリスト教の原典である聖書に注目し、古代イスラエルからキリスト教への発展史を概観する。最後に、キリスト教会の現代社会における意義を問う。

## B. 外国語科目

## 【第一外国語および第二外国語】

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0251 } 0397	英語 I	1	必	4	T. Bauerle T. Kenny	文学部英文学科・ 外国語学部英米科 ・日本語学科は必 修 8 単位
0401 } 0497	英語 II	2	必	4	D. Mayer M. LaForge P. LaForge J. Mainland T. Murphey J. Nord W. Purcell P. Rush B. Wagner C. Wordell M. Wright G. Yardley T. Jitodai D. Rines I. Harnett G. Ishige J. Ives D. Kluge A. Lara-Peter S. Petersen M. Oehler R. Rathburn S. Ryan M. Rycroft	

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
					T. Warren J. Williams 松 永 隆 鈴 木 孝 夫 玉 崎 孫 治 日野水 憲 青 柳 宏 足 立 公 也 足 立 桃 子 安 藤 光 史 岩 本 典 子 石 塚 倫 子 平 野 順 雄 堀 部 憲 夫 磯 部 哲 也 伊 藤 実 里 香 取 真理子 川 村 陽 子 河 村 春 美 小 宮 富 子 溝 口 健 二 長 岡 美 晴 小 澤 正 人 酒 井 洋 子 佐 藤 恵 子 島 禎 子 鈴 木 俊 次 滝 川 睦 子 田 中 幸 子	

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0501 0584	フランス語 I 文法 2単位 講読 2単位	1	選	4	戸澤裕子 涌井隆 宇納進一 渡辺義和 山田真規 松岡光治 栗村道夫 栗須公正 J. Schubert 練尾毅 濱名優美 倉田信子 丸岡高弘 森田マリ-アエス 熊沢一衛 浜本正文 長谷川太郎 飯野和夫 R. Holland 佐田収 鈴木覺 滝沢隆幸	文学部仏語学 仏文学科は必修 8単位
0601 0686	ドイツ語 I 文法 2単位 講読 2単位	1	選	4	原田武雄 内藤克彦 生野芳徳 石井賢治 林田雄二 L. Dražanová	文学部独語学独文学 科は必修8単位

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0701 ┆ 0744	イスパニヤ語 I 文法・講読 2単位 会話・作文 2単位	1	選	4	E. Rucker 大庭正春 小坂光一 岸田芙美子 A. Plum 清水純夫 松浦順子 中嶋忠宏 柴田庄一 成田克史 F. Rey 大岩勉 高橋覚二 芝修身 木下登 佐竹謙一 安原毅 E. Goicochea 有本紀明 加藤隆浩 伊藤モンセラート 川田玲子 A. Cárdenas 山田睦男 小池康弘 利光和彦 布施温 坂田幸子	外国語学部イスパニ ヤ科は必修 8単位

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0751 0752	ブラジルポルトガル語 I 文法・講読 2単位 会話・作文 2単位	1	選	4	角田 哲康 牛田 千鶴 宮下 克子 富野 幹雄 丸山 めぐみ	「外国人留学生の授業科目履修に関する特例」該当者
0761 0768	中国語 会話 2単位 語法 2単位	1	選	4	中 裕 史 陶 山 信 男	
0791	ラテン語 I〔神〕	1	必	4	吉 田 聖	
0792	ラテン語 II〔神〕	2	必	4	吉 田 聖	
9901	日本語	1		8	伴 紀 子 坂 本 正 大 塚 容 子	

専門教育科目としての英語Ⅱ、フランス語Ⅱ、ドイツ語Ⅱ、イスパニヤ語Ⅱ、ブラジルポルトガル語Ⅱ、ラテン語Ⅰ・Ⅱ、中国語中級会話については専門教育科目の関係の箇所を参照のこと。

## 【第一外国語および第二外国語】

### 講義概要

#### 英 語

今日、世界で英語が果たす重要な役割はよく知られている。従って、南山大学では全学生が今までの学習に引き続いて英語の能力を向上させることが出来るよう適切な機会を与えることに多大の関心を払ってきている。

英語学英文学科及び英米科の学生には、第1学年において半ば集中的な英語の訓練が行われる。英語を母国語とする外国人教員による週3回の英会話の授業があり、又監督教員の指導の下に週3回のランゲージラボラトリーにおける練習もある。これに加えて毎週訳読もしくは作文の授業も行われる（詳細については各学科のカリキュラム表を参照のこと）。

仏語学仏文学科・独語学独文学科・イスパニヤ科及び日本語学科学生には訳読及び英会話の授業がある。各学科において必要とされる外国語に習熟する一方で、英語の能力を維持し高めていくことが望まれる。

上記の学科以外の学生には、2年間に亘って毎週総合英語と訳読の授業が行われる。（ただし、経営学科の学生のうち国際コースを取る者には2年間に亘って週2回の英会話の授業が行われ、神学科で英語を第二外国語として選択した学生は一年次のみ総合英語と訳読を履修する）。総合英語は、その多くの授業は外国人教員によって行われるものであり、読むことと同時に話したり聴いたりする能力を高めることに力点を置いている。訳読の授業では、広い範囲にわたる教材が扱われ、英語で書かれている作品を理解し、日本語に訳せる能力を高めると同時に一般教養の向上に資することをその目的としている。

英語学英文学科・英米科以外の学生には上記の他に随意科目としての英語II（90生以上は上級英語）訳読・作文・会話が開講されておりいっそうの語学力を養う道が開かれている。

#### フ ラ ン ス 語

フランス料理、フランス映画、フランス絵画、フランス文学、ファッション、シャンソンなどを通じて私たち日本人にも身近なフランス語は、フランス本国以外にカナダ、ベルギー、スイスほか、アフリカ諸国など全部で三十数か国において用いられる有力な国際語の一つです。

フランス語を第一外国語として学ぶ場合は、おもに視聴覚教育方式により、フランス人と日本人の教師がタイアップして教え、ことばの生きた運用力（聴く、話す、読む、書くの四技能）を体系的に身につけることを目的としています。

第二外国語としてフランス語を選択する場合には、伝統文法の優れて分析的な方法を用いて、文献解読、情報収集、実務などにも役立つような語学力の習得を目標とします。

外国語の勉強は、毎日が未知の世界の発見です。ことばを通して私たちは初めてその言葉を使う人々の生活や意見を知ることができます。「知る」ことによって自分の世界が広がっていく喜びを味わってみましょう。

## ドイツ語

ドイツ語は英語と同じゲルマン語の仲間です。現在ではドイツ、オーストリア、スイスで日常に使用されています。わが国では特に教養外国語として重要視されてきた長い歴史があります。そのため従来の授業においては読解力の養成に主力を注ぐ傾向があったことは否定できません。

しかし今日のように国際社会の中での文化や産業の相互交流が盛んになってきた時代においては、ドイツ語の授業も単に読む力ばかりでなく、話す力、聞く力の養成にも力を入れなければならなくなってきました。

そのため本学においては、ドイツ語をまずアクチュアルな外国語として学習できるように、視聴覚教育機器を利用した授業を主体とする方針を取っています。美しいドイツ民謡や歌曲、ビデオなども適宜利用して、できるだけ親しみやすくわかりやすい、楽しいドイツ語の時間にしたいと考えています。

第2外国語としてのドイツ語の時間は第1外国語としてのドイツ語の時間よりずっと少ないので、表現力より理解力の養成の方に重点を置かざるを得ませんが、1年間で基本文法はすべて修得できるようにしてあります。希望者には第2年次以降も学習できるようにドイツ語科目が開講されていますので、ぜひそれを利用してほしいと思います。

「外国語を知らない者は自分の国のことばをも知らない。」とゲーテは言いました。古いゲルマンの時代からの精神文化の蓄積の中で養われ発達してきたドイツ語との触れ合いを通して、諸君の日本語に対するセンスを磨かれることを期待しています。

## イスパニヤ語

新入生の諸君にとっては、イスパニヤ語というより、スペイン語といった方がわかりやすいかと思います。スペイン語は、ポルトガル語、フランス語、イタリア語、ルーマニア語と同じくラテン語から変化した言語です。

現在では、スペインはもとより、メキシコ、それにグアテマラからパナマに至る中米の国々、そしてコロンビア、ベネズエラ、アルゼンチン、チリーに至る南米の国々で使用されています。中南米諸国との経済面での関係を一層深めていかねばならない日本の立場からすれば、これらの地域で使用されているスペイン語の理解は非常に大切だと言えるでしょう。

スペイン語は、発音が日本語とよく似ており、ローマ字読みするだけで結構相手に通じます。単語も基本1,000語でかなりの会話ができると言われており、語順なども日本語と同様に規則がゆるやかなため、我々日本人にとって最も親しみやすい外国語のひとつだと言えます。理解力は表現力の基礎となるので一年次では文法・講読を会話・作文より重要視します。一年間みっちり勉強すれば中級程度の読みものならば辞書を片手に読めるだけの理解力、および現地での旅行がなんとかできるだけの表現力を身につけることが可能です。二年次以降も随意科目として講読や会話の勉強を続けることができます。

### ブラジルポルトガル語

ブラジルポルトガル語とは、ブラジルにおいて使用されているポルトガル語といった意味です。ポルトガル本国のポルトガル語とは、発音や語彙の面で若干の差があっても、本質的には同じですから、単にポルトガル語という人もいます。

いずれの名称を使うにせよ、ブラジルポルトガル語は、スペイン語と同様に、ロマンス系諸語の中の一つであり、スペイン語、フランス語、イタリア語などとは姉妹語の關係にあります。特にスペイン語とは著しく類似し、日本人には比較的学びやすい外国語と言うことができるでしょう。

ポルトガル語は、ブラジルのほか、ポルトガルはもちろんアンゴラ、モザンビークなどの旧ポルトガル海外領において、公用語になっていますが、ラテン・アメリカ諸国の中でも、特に日本からの進出企業を数百社も受入れているブラジルとの關係を考えると、将来に対する布石として、ブラジルポルトガル語を勉強しておくことは意味あることと考えられます。

### 中 国 語

中国には50を越える民族が生活しており多様な言語を使用しています。その中で人口の9割以上を占める漢民族の言語はこれを「漢語」といいます。しかし、広大な中国大陸のことですから、「漢語」と一口にいても地域差が非常に大きく、漢民族同士でもその方言圏が異なれば意志の疎通は全く不可能といってよいでしょう。そこでつくり出されたのが標準語です。北京の言葉に基づいたもので、ラジオやテレビ、学校などを通じ全国に普及しています。これを「普通話」といいます。また、「國語」や「華語」などといったりもしますが、台湾や香港、シンガポールなどにおいても標準語は広く用いられています。われわれの学ぶ中国語とはこの標準語なのです。

実際の学習においては、第一に、初歩的な会話の力が具わることを目指します。そして受講生の到達した水準を確認するために、適宜暗誦や聞きとりの考査をおこないます。また、学期途中から、作文や翻訳の小演習をとりいれ、基本的な読解の力の養成をはかります。

目で見るとわかるような気がするけれども耳で聞くとやはり外国語であることを意識させられる、それが中国語です。心して取り組まれますよう。

## ラテン語

### I. 南山大学のラテン語について

(1) ラテン語は、大学でしか学べない言語の一つです。十二の主なインド・ヨーロッパ語族の一つであるラテン語が「母親」となり、「ロマンス語」といわれる「子どもたち」、即ちフランス語・イタリア語・スペイン語・ポルトガル語・ルーマニア語が生まれました。したがって、この母親と「子どもたち」とは顔も形も（つまり単語も文法上の形も）とてもよく似ており、語源的に共通性があります。ゲルマン語系のドイツ語や英語も影響を受け、英語は7000語以上の単語をラテン語から受け取り、今もそのまま使っているのです！ラテン語を学ぶにつれて、きっと懐かしい「旧友との再会」にも似た喜びを味わうことでしょう。このラテン語は、西欧の諸言語および古典文化の源流として、今も興味の尽きないものがあります。

(2) 南山大学の教育理念はラテン語で、HOMINIS DIGNITATIと言いFor Human Dignity、「人間の尊厳のために」という意味です。G棟ロビーの壁にはこの他にも「ラテン語文」が6つ掲げられていますが授業で詳しく解説します。

ラテン語の名詞・形容詞・代名詞・動詞は緻密な「語尾変化」するので、「文法は複雑だな」と思うかもしれません。発音はやさしく、ミサ曲など教会音楽を通して今でも親しまれています。ラテン語の授業は、高校時代の英語学習にありがちな単語や文法の丸暗記ではありません。上述の諸言語の中に、そして私たちの日常生活の中に生きているラテン語を「再発見」し、ラテン語を学ぶことが意外と喜びや楽しみになるような授業です。先日、愛知県内で英語の先生をしている'82年生のOBのY君が数年振りに訪ねて来て、授業で使ったラテン語の文法書とプリント類を見せながら、とても役に立っていますよ、と言ってくれました。

(3) “Studia adolescentiam alunt, senectutem delectant.” (Cicero 106-43BC) 「勉学は青年を養い、老年を楽しませる」。2000年以上も昔のキケロのこの言葉のように、青年時代のラテン語の学習は、複数言語間の語源的な知識を深めるだけでなく、英知あふれる格言や箴言、聖書の言葉の理解、そしてラテン語の音楽鑑賞などにより、豊かな教養を身につけさせ、学ぶ人の人生をきっと豊かで楽しいものにするでしょう。特に2・3・4年次生で、将来、語学の教員になりたい人、語学に興味のある人、あるいは時間割りにゆとりのある人、大学時代にしか学べないものを搜している人に、「ラテン語I（初級）」〔「ラテン語II（中級）」はラテン語I履修者対象〕をすすめます。英語以外の語学（フランス語・ドイツ語・イスパニア語）を第一外国語とし、さらにラテン語も勉強する1年次生の場合、二つの言語の同時学習から生じる混乱を避ける意味で、ラテン語の方はなるべく2年次以降に履修するようにしたらよいでしょう。（なお、「ラテン語I（初級）」、「ラテン語II（中級）」

の講義概要については、文学部開設共通自由科目の頁を参照。）

II. 第一外国語、第二外国語（いずれも神学科）としてのラテン語について。

(1) 1990年9月開催の文学部教授会で学則変更が承認され、翌1991年度新入生より神学科の第一外国語（8単位）の改訂が次のように実施されました。即ち①従来「ラテン語のみ」であったものが、改訂後には「ラテン語」または「英語」の中から一科目の選択が可能となり、②履修期間も従来の「一年間」から、文学部の哲学・人類・教育など非語学系学科と同じように「二年間」となりました。学科別カリキュラム表、神学科参照（109頁）

(2) 補足説明として、①神学科所属の「神学生」、即ち将来、複数の外国語を必要とする宣教師（司祭や修道者）を目指す教皇庁認可神学部にも所属する学生の第一外国語は従来通りラテン語（8単位）です（第二外国語は英語・フランス語・ドイツ語の中から一科目の選択が可能。）参考までに、『カトリック新教会法典』（有斐閣 1992年2月）によれば、「司祭養成に関する要綱は、学生が自国語を正確に学ぶだけでなく、ラテン語に精通し、学生の養成又は司牧的奉仕職の実践に必要な若しくは有益であると思われる他の外国語をも十分習得するよう規定しなければならない」（第249条）とあります。

②神学科所属の「一般学生」は英語（8単位）を第一外国語に選択可能です（その場合第二外国語・ラテン語Ⅰが必須科目。）したがって、英語を第一外国語にする神学科の一般学生でも卒業資格をえるために「ラテン語Ⅰ〔神〕」を必ず履修する必要があります。

以上、改訂後の履修要項について『学生便覧』や『学生生活案内』には説明文としてこれまでに正確に記載されていなかったもので、ここに明記して、学生の注意を喚起しておきたいと思います。

（文責：ラテン語担当 吉田 聖）

## 0791 ラテン語Ⅰ〔神〕（必・1年次・4単位・通年）神学科用

吉田 聖

### 〔ラテン語の基礎知識の習得〕

“Gutta cavat lapidem, non vi, sed saepe cadendo.” 「水滴は力によってではなく、何度も落ちることによって、石さえも穿つ」（格言「点滴石をも穿つ」）。ラテン語の学習も同じことで、一夜漬けは効かない。水滴のように継続的で、地道な予習・復習など、小さな努力の積み重ねが必要である。現代の諸言語と語源的に共通性のあるラテン語を一年かけて学び、その文法や単語など基礎的知識を身につける。文法書：『ラテン文法』中央出版社。辞書：田中秀央『羅和辞典』研究社。教材はプリントにして配付する。

## 0792 ラテン語Ⅱ [神] (必・2年次・4単位・通年) 神学科用

吉田 聖

## 〔ラテン語の文献講読〕

ラテン語Ⅰを履修できた学生を対象とする。ラテン語の基礎的知識を駆使しながら、聖書(約30回)、現代ラテン語(約30回)に内容を分けて研究し、文法を復習し読解力を養う。文法書：『ラテン文法』中央出版社 1984。辞書：田中秀央『羅和辞典』研究社。

A. (火56) 聖書のラテン語。“Non potest arbor bona fructus malos facere, neque arbor mala fructus bonos facere.” (Mt 7, 18)「良い木が悪い実を結ぶことはなく、また、悪い木が良い実を結ぶこともできない」(マタイ7, 18)。

教材：その都度、プリントにして配付する。

副読本：堀田雄康『聖書・楽読楽語』聖母の騎士社

B. (木12) 現代ラテン語。昨年7月に出版された、ユーモアあふれる面白い教材(カペラーヌス著『現代ラテン語会話』大学書林 1993)をテキストにして、「宇宙旅行」や「オリンピック」、「各種スポーツやゲーム：スキー、競馬、体操」、さらには「原子力」や「社会・経済」の分野など幅広く、現代最新の事物について、ラテン語ではどのように表現されるかを学んでいく。

テキスト：カペラーヌス著『現代ラテン語会話』大学書林 1993

## 9901 日本語 (1年次・8単位・通年)

伴 紀子  
坂本 正  
大塚 容子

日本語力が不足している留学生及び帰国子女を対象とした授業である。大学での専門別の研究には、1)講義が聞ける、2)論旨の整った、ある程度の長さのレポートが書ける、3)専攻の分野の専門書が読める、という言語能力が要求されるので、この能力を高めることを目標に速読、精読、そして作文練習に重点を置く。しかし、履修者の専門がかなり違うので、教材は語彙や内容の偏りを避けるために中庸のものを使用する。

この日本語履修に関しては「外国人留学生の授業科目履修に関する特例」を参照、p.542参照。

C. 保健体育科目

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0801 } 0812	保健体育理論	1	必	2	岩見恒典 寺田邦昭 三浦修史 榎本鐘司 中路恭平	
0813 0814	保健体育理論(再)	2・3・4	必	2	寺田邦昭	再履修者用
0821 } 0826	体育実技 IA	1	必	2/3	岩見恒典 寺田邦昭 三浦修史 榎本鐘司 中路恭平 松岡敏恵 西垣完彦 松岡弘記	(前期) 総合コース (後期) ソフトボール (男女) 硬式テニス(男女) ハンドボール(男女) バスケットボール (男女) 卓球(男女) バドミントン (男女)
0831 } 0836	体育実技 IB	1	必	2/3	福田和夫 小澤英二 鬼頭伸和 石田幸栄 山本俊彦 高橋繁浩 松井健 島岡みどり	サッカー(男) 水泳(男女) 柔道(男) 剣道(男女) アーチェリー(女) エアロビクス(女) 総合(男女)
0841 } 0843	体育実技 II	2	必	2/3	岩見恒典 寺田邦昭 三浦修史 榎本鐘司 中路恭平 松岡敏恵 杉山和子 小沢辺彦 小渡脇田久 高木英樹 中村哲夫	(前期または後期) ソフトボール(男女) 硬式テニス(男女) ハンドボール(男女) バスケットボール (男女) 卓球(男女) バドミントン(男女) サッカー(男女) 水泳(男女) 柔道(男女) 剣道(男女) バレーボール(男女) アイスクレード (男女) 野外コース (登山キャンピング) (男女) *昭和62年度以前入 学生で、既に体育 実技Iの単位を修 得した学生に対し ての体育実技IIの 単位は1単位

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0861 } 0866	体育実技 III	2・3・4	随	1	岩見恒典 寺田邦昭 三浦修史 榎本鐘司 中路恭平 松岡敏恵	ソフトボール (男女) テニス (男女) アイススケート (男女) その他実技IIにおけ る開講科目
0821 } 0826 0831 } 0836 0841 } 0843	体育実技 IA・IB・II (特)	1・2	必	各 $\frac{2}{3}$ *	松岡敏恵	要医療者等 *昭和62年度以前入 学生で、既に体育 実技Iの単位を修 得した学生に対し ての体育実技IIの 単位は1単位。
0868	体育実技 III (登山キャンピング)	2・3・4	随	1	榎本鐘司 中路恭平	
0869	体育実技 III (スキー)	2・3・4	随	1	岩見恒典 中路恭平	

## 【保健体育科目】

### 講義概要

0801 保健体育理論 (必・1年次・2単位・通年) 三浦修史  
0802

〔現代人の健康維持にはたす身体運動の役割〕

今日、学校、職場等の環境は厳しさを増し、多くの人々が外界からのストレスにさらされている。その結果多くの半健康状態の人が存在するといわれている。そこで本講義では、変動する現代社会がもたらすストレスとそれらに反応する現代人について具体的に考えるとともに、ストレス・マネージメントにはたす身体運動の効果についても学習する。

0803 保健体育理論 (必・1年次・2単位・通年) 岩見恒典  
0804

一般に動物では、ほとんどの動きに対するプログラムが、生まれたときに神経系の中に組み込まれているので、その動物固有の動き方しかできないといわれている。それに対して人間は、基本的な動きのパターン以外はまったくの白紙で生まれてくるので、その後の学習によって、いろいろな動きを獲得することができるのである。今年度の授業では、このような学習の成果としての身体の動かし方について、「身体を動かす上での問題点」「身体を動かす過程で生ずる問題点」「身体を動かした結果おこる問題点」などについて考えてみたい。

0805 保健体育理論 (必・1年次・2単位・通年) 中路恭平  
0806

〔現代社会における健康・体力とスポーツ〕

運動不足、栄養過多、ストレスは現代社会における健康を阻害する3大要因である。ややもすれば不健康な生活に陥り易い現代社会において、いかに健康を保持し、積極的な社会生活をおくるかは現代人に与えられた課題といえよう。前期では、これら健康・体力問題を運動との関わりにおいて解説する。

また、運動やスポーツの行い方はその時々、社会的背景と密接な関係がある。後期では、人類がこれまでどのように運動・スポーツと関わってきたか歴史的に概観したうえで、現代におけるさまざまな問題点を検討し、運動目スポーツの生活化の方策を探る。

0807 保健体育理論 (必・1年次・2単位・通年) 中路 恭平  
0808

内容は前述の保健体育理論(中路担当)とほぼ同じである。

0809 保健体育理論 (必・1年次・2単位・通年) 三浦 修史  
0810

〔現代人の健康維持にはたす身体運動の役割〕

今日、学校、職場等の環境は厳しさを増し、多くの人々が外界からのストレスにさらされている。その結果多くの半健康状態の人が存在するといわれている。そこで本講義では、変動する現代社会がもたらすストレスとそれらに反応する現代人について具体的に考えるとともに、ストレス・マネジメントにはたす身体運動の効果についても学習する。

0811 保健体育理論 (必・1年次・2単位・通年) 榎本 鐘司  
0812

〔現代と健康・スポーツ〕

講義におけるテーマの設定は以下のようである。1. 貝原益軒の「養生訓」(東洋的身体論) 2. ヒポクラテスの食養生と体操 3. 日本人の健康 4. トレーニング論 5. 身体運動の技術 6. 運動技術(動作)の習得方法論 7. 遊戯について 8. 娯楽とスポーツ(中世と娯楽) 9. イギリスにおける近代スポーツの形成、10. 近代スポーツの負の側面、11. ライフスタイルとスポーツ(展望)

以上の講義を通して、現代社会・生活の変容に則したスポーツ認識を深め、実技授業と相互補完してスポーツ的自立のための実践的方法を提供することをねらいとする。

【再履修者用】

0813 保健体育理論(再) (必・2・3・4年次・2単位・通年)  
0814

寺田 邦昭

〔スポーツと健康〕

私たちの活動を支えている身体諸機能の中から、筋機能・神経機能・呼吸機能・循環機能などを取り上げ、運動との関わりや機能向上法などについて解説する。また、「健康」に対する関心が高まっている昨今であるが、運動による「積極的健康」づくりや環境破壊、医療制度など、健康を取り巻く諸問題についても考察を行う予定である。加えて、スポーツが大衆化し、生活の一部になりつつある現状に鑑み、それらを歴史的に振り返ると共に、現代社会に於けるスポーツの意義・問題点について検討を加える。

**体育実技 I A (必・1年次・ $\frac{2}{3}$ 単位・前期)**

体育実技 I Aでは、基本的な運動能力を高めるため、受講者は全員、テニス、バレーボール、卓球、バトミントン、水泳、バスケットボール、ハンドボール、トレーニングなどのうち数種目の組合せよりなる総合コースを選択し、それぞれの種目を数週間ずつ履修する。担当者は I Bの担当者と同じである。

**体育実技 I B (必・1年次・ $\frac{2}{3}$ 単位・後期)**

体育実技 I Bでは、テニス、サッカー、バスケットボールなどのスポーツ種目を教材として、履修者は、当該時限に用意された種目の中から1種目を選択し、後期間中を通して履修する。ここでは、それぞれの種目のもつ基礎的技術の習得と、その応用としてのゲーム等を通して、基礎的運動能力の向上をはかり、あわせて協調性や、責任感など、好ましい社会性の育成に努める。担当者は以下の通りである。

岩 見 恒 典	寺 田 邦 昭	松 岡 敏 恵
三 浦 修 史	榎 本 鐘 司	中 路 恭 平
西 垣 完 彦	石 田 幸 栄	小 澤 英 二
鬼 頭 伸 和	山 本 俊 彦	島 岡 みどり
高 橋 繁 浩	福 田 和 夫	松 岡 弘 記
松 井 健		

**体育実技 II (必・2年次・ $\frac{2}{3}$ 単位・前期又は後期)**

但し、昭和62年度以前の入学生で既に実技 I の単位を修得した学生に対しての実技 II の単位は 1 単位。

体育実技 I における後期の場合と同様に、1種目を前期または後期いずれか半期間履修する。教材としてとりあげる種目は、体育実技 I とほぼ同様であるが、ここでは個々の種目の持つ基本技術の練習を通して、それらの種目の特性を学ぶとともに、基礎体力の向上に努める。また試合経験を通して、パートナーシップ、スポーツマンシップ、フェアプレーの精神など、健全な社会人としての資質の涵養に努める。担当者は以下の通りである。

岩 見 恒 典	寺 田 邦 昭
三 浦 修 史	榎 本 鐘 司
中 路 恭 平	松 岡 敏 恵
杉 山 和	渡 辺 俊 彦
小 沢 教 子	脇 田 裕 久
高 木 英 樹	中 村 哲 夫

**体育実技ⅠA・ⅠB・Ⅱ（特）**

〔要医療者等〕

身体障害者や医師の診断により医療または生活指導を必要とする学生の実技として、軽スポーツを教材としてとりあげ、履修者個人の体力に応じた運動処方をおこなう。

松岡敏恵

**体育実技Ⅲ（随・2・3・4年次・1単位・前期又は後期、および集中）**

従来、学校体育で取りあげられて来たスポーツ教材は、競技的なものが多く、それが直接卒業後のスポーツ活動と結びつくものは少ない傾向にある。そこで、実技Ⅲではアイススケート・登山キャンピング・スキー等、広く一般社会で親しまれている野外スポーツ種目を選び、その生涯体育への足がかりとしての基礎的学習をおこなう。また、テニス・卓球・サッカーなど学内でおこなわれるスポーツ種目の受講希望者に対しても、その履修の道が開かれているが、選択種目は、登録時に希望種目を予備選択することによって、前期第1週に確定するので、教務課窓口で種目選択の手続きをした上で、登録すること。担当者は以下の通りである。

岩見恒典	三浦修史
寺田邦昭	松岡敏恵
榎本鐘司	中路恭平

**野外コース（集中）について**

野外コースは、大自然とのふれあいの中で自然の厳しさを体験すると同時に、グループ活動・団体生活を通して社会性を養い、生涯スポーツとして生活を豊かにできるようにその基礎づくりを目的に開講されており、以下の種目がある。

**○登山キャンピング（体育実技ⅡおよびⅢ）**

登山キャンピングは、長野県穂高岳周辺を中心に7月下旬の3泊4日、定員40名で実施されるが、これに先だち学内実習が予定されている（詳細は別紙実施要項参照）。実技Ⅲとして履修する場合にはコードNo.0868に登録の上、教務課窓口にて実施要項を受取り、参加申込の手続きをすること。実技Ⅱとしての履修は、定員に余裕のある場合、体育実技Ⅱの前期授業開始第1週の種目選択時に希望者を受けつけるので、授業終了後、参加申込等の手続きをすること。

榎本鐘司 中路恭平

**○スキー（体育実技Ⅲ）**

スキー実習は、4泊5日で実施されるが、これに加えて学内実習が予定されている。履修登録には、コードNo.0869に登録の上、教務課窓口にて実施要項を受取り、参加申込の手続きをすること。なお、定員は30名であり、登録者が多数の場合には、

初心者および3・4年生を優先する。

岩見恒典 中路恭平

なお、野外コースにおいては、登録後における履修取消し、あるいは授業欠席等は授業実施上不都合となるので、充分注意の上登録すること。

## 日本語・日本事情に関する科目【留学生用】

P. 542「外国人留学生の授業科目履修に関する特例」を参照のこと。

(日本語)

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
9901	日本語 A	1	選	8	伴 紀子 坂本 正 大塚 容子	前期+夏期集中+後期

(日本事情に関する科目)

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
*9911	日本文化入門	1・2	選	4	町田 奈々子	秋学期(別科)
*9915	日本の歴史	1・2	選	4	明石 陽至	春学期(別科)
9921	日本語学	3・4	選	4	阿部 泰明	
9925	日本語習得	3・4	選	4	T. Murphey	
*9931	日本の文学	1・2	選	4	佐々木 英昭	秋学期(別科)
*9935	日本の民族学	1・2	選	4	P. Knecht	秋学期(別科)
*9941	日本の宗教	1・2	選	4	P. Swanson	春学期(別科)
*9945	日本美術史	1・2	選	4		
*9951	日本の社会	1・2	選	4		
*9955	日本の政治	1・2	選	4	明石 陽至	春学期(別科)
*9961	日本と国際政治	1・2	選	4	明石 陽至	春学期(別科)
*9965	日本の経済	1・2	選	4	花井 敏	春学期(別科)
9971	日本の経営(1)	3・4	選	4	A. Iaquinto	
9972	日本の経営(2)	3・4	選	4	M. Bremer	
9973	日本の経営(3)	3・4	選	4	T. Jitodai	
9974	日本の経営(4)	1・2	選	4	鎌田 信夫	

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
9975	日 本 の 経 営 (5)	1・2	選	4		
9981	日 本 の 思 想	1・2	選	4		
9985	日 本 と 異 文 化 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	3・4	選	4		

\*の科目は別科開講科目である。その他の科目は学部・別科共通開講科目である。  
 秋学期時間割は7月頃、春学期時間割は12月頃に発表される。

## 共通必修専門教育科目

### 【キリスト教思想】

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
0901	キリスト教思想 I	2	必	2	枝 村 茂	
0902					五百旗頭 博治	
0903					熊 木 建 郎	
0904					R. Szimpl	
0905					鳥 巢 義 文	
0906					石 脇 慶 總	
0907					E. Rucker	
0908					J. Schubert	
0909					J. Seland	
0910					寺 尾 総一郎	
0911					J. Schubert	
0912					R. Szimpl	
0913					鳥 巢 義 文	
0914					E. Rucker	
0915					J. Seland	
0916					石 脇 慶 總	
0917					W. Dunphy	
0918					寺 尾 総一郎	
0919					W. Dunphy	
0920					枝 村 茂	
0921	五百旗頭 博治					
0922	熊 木 建 郎					
0923	キリスト教思想 I (再) <sub>1</sub>	3・4	必	2	石 橋 泰 助	(前期)
0924	キリスト教思想 I (再) <sub>2</sub>				石 橋 泰 助	(後期)

科目 コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0941	キリスト教思想Ⅱ	3	必	2	青山 玄	
0942					J. Van Bragt	
0943					大森 正樹	
0944					木下 登	
0945					長倉 久子	
0946					石黒 秀嗣	
0947					蒔苗 暢夫	
0948					M. Calmano	
0949					森 茂也	
0950					M. Seigel	
0951					渡邊 頼純	
0952					村越 好男	
0953					保呂 篤彦	
0955					青山 玄	
0956					J. Van Bragt	
0957					大森 正樹	
0958					木下 登	
0959					長倉 久子	
0960					石黒 秀嗣	
0961					M. Calmano	
0962					森 茂也	
0964					渡邊 頼純	
0965					村越 好男	
0966					保呂 篤彦	
0968					C. Pavón	
0970					P. LaForge	
0971	P. LaForge		(前期)			
0972	キリスト教思想Ⅱ(再) <sub>1</sub>	4	必	2	石脇 慶 總	(前期)

科目 コード	授 業 科 目	年次	指定	単位	担 当 者	備 考
0973	キリスト教思想Ⅱ(再) <sub>2</sub>				石 協 慶 總	(後期)

## 【キリスト教思想Ⅰ】

## 講義概要

0901 キリスト教思想Ⅰ (必・2年次・2単位・通年) 枝村 茂

福音書の伝達しようとしている、歴史のイエス像とその使命を浮彫りにするため、イエスが宣べ伝え、確立しようとした神の国の内実を、その背景にある旧約聖書、イスラエル教の歴史の流れに沿って解明する。

0902  
0921 キリスト教思想Ⅰ (必・2年次・2単位・通年) 五百旗頭 博治

1. 共観福音書へのイントロダクション：文献批判的・様式史的・編集史的研究等について。
2. 山上の説教と平地の説教、キリストの受難と死、復活等に関する聖書のテキストを読む。
3. 補足的、連関的にアウグスチヌスやトマス・の聖書解釈、カトリック教会の神学思想・自然法思想等について触れる。

テキスト：聖書

0903  
0922 キリスト教思想Ⅰ (必・2年次・2単位・通年) 熊木 建郎

## 〔キリスト論〕

キリスト教にとっての聖書の意義などについて述べた後、現代新約学の批判的研究をふまえて、イエスの生涯と教えについて新約聖書を読みながら考察する。

テキスト：『聖書』（旧約と新約を含む）

0904  
0912 キリスト教思想Ⅰ (必・2年次・2単位・通年) R. Szimpl

## 〔キリスト論〕

聖書の成立を紹介した後で、イエスの生涯と教えを考察する。聖書を読みながら、史的人物としてのイエス、受肉、復活、奇跡物語、山上の説教、譬え話などに触れ、最後にイエスに対する信仰の成立をたどる。

テキスト：聖書

0905 キリスト教思想 I (必・2年次・2単位・通年) 鳥 巢 義 文  
0913

〔キリスト論〕

本講義においては、下記の諸項目のもと、イエス・キリストについて学び、考えていく。

1. 福音書解釈上の手続きと諸問題
2. イエスの歴史的状況
3. イエスの思想とわざ
4. キリスト教信仰の成立

なお、講義中に「聖書」を使用するので、準備しておくように。

0906 キリスト教思想 I (必・2年次・2単位・通年) 石 脇 慶 總  
0916

〔キリスト論〕

「副題」横からのキリスト論

ナザレのイエスと呼ばれた男が、どのようにして、キリスト教神学の「キリスト論」の主題となっていったか。初期キリスト教団の「信仰」の「展開」を出来るだけ客観的に眺めていく。実証的、歴史的研究を踏まえながら、主として「カトリック教義神学」的観点から理論的な解明を試みる。

0907 キリスト教思想 I (必・2年次・2単位・通年) E. Rucker  
0914

〔キリスト論〕

イエズスとキリスト教の起源・史的人物としてのイエズス・新約聖書の成立・イエズスの価値観・イエズスの終末的な世界観・イエズスによつての救い・イエズスの父なる神・イエズスの死の特徴・新約聖書によるイエズスの復活・イエズスに対しての同時代と後代の人々の判断

テキスト：聖書とパンフレット

0908 キリスト教思想 I (必・2年次・2単位・通年) J. Schubert  
0911

〔イエズス・キリストの世界的使命〕

前期において、イエズス・キリストの生涯を福音書と視聴覚教材をもって説明し、イエズス・キリストの本質、その教え、及び使命を詳細に分析する。

後期において、現代社会に於ける教会の役割、特に正義と平和の使命を洞察し、開発途上国に対する先進諸国の責任にまで触れる。

テキスト：新約聖書及び現代世界憲章

0909 キリスト教思想 I (必・2年次・2単位・通年) J. Seland  
0915

〔キリスト論〕

イエスの人格並びにその他のテーマ：

赦し、愛、祈り、喜び、イエスの弟子、イエスのたとえなし、イエスと罪人、イエスと身分の低い人、イエスと旧約聖書の十戒、などについて考察する。

テキスト：新約聖書（日本聖書協会訳）

0910 キリスト教思想 I (必・2年次・2単位・通年) 寺尾 総一郎  
0918

〔キリスト論〕

1. イエスの弟子たちは、なぜ、彼が神であると信じるようになったのかを新約聖書を通して考える。
2. イエスは、彼の時代的・場所的背景のもとで生きたのに、なぜ、今日まで、そして諸民族の中に、彼を神と信じる人々がいるのかを適宜、聖書以外の文献も見ながら考える。
3. イエスを神と信じる者（クリスチャン）は、現代社会において、そして現代的課題の中で、どのように生きるように説いているのか、おもにカトリック教会の指導者たちの教書を見ながら考える。

0917 キリスト教思想 I (必・2年次・2単位・通年) W. Dunphy  
0919

〔イエスと福音書〕

福音書の成立を説明し、四福音書記者の見方を通して、歴史的イエスの生涯（教えと行い）を調べていきたい。

テキストは聖書を使用。

【再履修者用】

0923 キリスト教思想 I (再)  
0924 (必・3・4年次・2単位・前期・後期) 石橋 拳助

〔キリスト論〕

「イエスはキリストである」という信仰の成立の由来と信仰内容を理解するために、次のテーマに従って研究する。

1. キリスト教と聖書。
2. 聖書のメッセージ。
3. キリスト信仰の成立。
4. イエス・キリストの活動と教え。
5. 現代の諸問題とキリストの教え。

## 【キリスト教思想Ⅱ】

## 講義概要

0941 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) 青山 玄  
0955

## 〔現代社会史〕

近代と現代との境界線をどこに引くかは、意見の分かれる難しい問題であろうが、ここでは20世紀初頭以降を現代と見て、この激動する現代世界の中で、ローマ教皇をはじめカトリック者がどのように考え、長いキリスト教の伝統をどのように現代社会の中で生かそうとして来たか、という思想的変遷について考究する。後期には、特に第二ヴァチカン公会議とその後の教会の動きについて考察する。

教材は、講義の時にプリントで配布する。

0942 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) J. Van Bragt  
0956

## 〔日本の諸宗教とキリスト教〕

キリスト教の要点を、日本の諸宗教の教理との比較の上で説明する。

日本人の宗教心の特徴とは何か。宗教学的立場からそれを探究してから、その宗教心やその中に含まれている考え方と、キリスト教との共通点や相違点を調べる。主として次のところにおいて研究していく。

- 一 キリスト教の神—仏教の法—神道の神々
- 一 イエズス・キリスト—釈尊・アミダ如来・親鸞……
- 一 キリスト教、仏教、神道の人生観
- 一 キリスト教、仏教、儒教の倫理

0943 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) 大森 正樹  
0957

## 〔イコンを通して知るキリスト教〕

東方キリスト教の宝であるイコン（聖像画）を通してキリスト教の知られざる側面に触れてみる。授業ではまず東方キリスト教とは何かに言及し、スライドあるいは図版によって様々なイコンを眺めることにする。そしてそこに秘められている様々な意味を読みとって、一面的でないキリスト教理解が可能になるよう試みる。

0944 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) 木下 登  
0958

〔スペインの精神文化〕

スペインを理解するにあたって不可欠の要素の一つとして「スペイン人の宗教思想」があげられる。3人の代表的宗教思想家の研究を通してスペインの精神文化への接近を試みる。

テキスト：P. シモン、木下登 編著『ミゲル・デ・ウナムーノ ―その思想的ひらめき』(1988)

0945 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) 長倉久子  
0959

〔神の存在と人間〕

神はいるのだろうか、いないのだろうか。神がいる(いない)ことはどのように「証明」できるのだろうか。もし神がいるのであれば……もし神がいなければ……。現代社会の問題を考えつつ、私にとって神とは何であるのか、何でないのか、を考えてみよう。

0946 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) 石黒秀嗣  
0960

〔キリスト教神秘思想の源流〕

人間は、神を求めると同時に人間の存在の根拠を求めそこに究極の幸福を求めてきた。神秘思想家は、神について知るだけでは満足しない。神との直接的接触を探究し、これを体験することを常に渴望するのである。このような「熱烈なる神への愛」は、古代ギリシア世界では「エロース」としてプラトン哲学に展開される。一方キリスト教世界では「愛(アガペー)」という新しい意味を持つことになる。そこには神に関する「神は愛なり」という新しい教えがあり、神の愛による魂の救いが説かれるのである。本講義ではキリスト教神秘思想の源流を古代・中世思想に求め、キリスト教的愛の分析と現代的意義について考察する。

教材は、講義の時にプリントで配布する。

0947 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) 蒔苗暢夫

〔現代世界とキリスト教〕

公会議の歴史を、教義の確立、その哲学的背景という観点から概観し、第二バチカン公会議の位置づけを行い、そこにおいて承認され公布された憲章、宣言及びその後公にされた回勅その他の諸決定を手がかりに、現代世界のかかえる諸問題「無神論」「婚姻と家庭」等々について、教会はどのように考え、何を期待し、何を為しているかを考察する。

参考文献：南山大学監修『第二バチカン公会議文書解説叢書』、『第二バチカン公

会議公文書全集』(中央出版社)

デンツィンガー『カトリック教会文書資料集』(エンデルレ書店)

0948 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) M. Calmano  
0961

「人間の自由」は昔から宗教・哲学の論点になっているだけではなく、学校教育の実践的な問題にもなっている。教育における「自由」についてのいくつかの具体的な問題を検討した後、数人の教育学者(P. Freire, I. Illich)とキリスト教(特に旧、新約聖書)の自由観を紹介する。なお、英語の文章を含む資料集を使うが、講義を日本語で行う。

0949 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) 森 茂 也  
0962

〔カトリック社会論——働くことについて——〕

労働組合運動を提起したことで一般にも知られる教皇レオ13世の回勅『レーラム・ノヴァールム』(1891年)以来の歴代教皇の「社会回勅」にみられる社会教説の検討を通じ、キリスト教の労働観、広くは「働くこと」について考察する。

テキスト：沢田和夫訳。教皇ヨハネ・パウロ二世『働くことについて』(カトリック中央協議会、1982)

0950 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) M. Siegel  
〔キリスト教の社会思想〕

キリスト教の人間像及び自然観について考究した上に、キリスト教の社会思想と現代世界のさまざまな社会問題(環境問題を含めて)を考察していく。

教材：M. シーゲル著「聖書が見る現代」ヨルダン社、(1994年2月出版予定)

0951 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) 渡 邊 頼 純  
0964

〔キリスト教における「愛」のメッセージ〕

現代を生きる私たちにとって最も切実な問題は「愛」ではないでしょうか。友だちや恋人どうし、結婚してからの夫婦の愛や子供への愛など、人生のあらゆる段階で絶えず問われ続けるテーマとしてこの「愛」の問題があるような気がします。生

きることと密接に関連した「愛」についてキリスト教はどのようなメッセージを私たちに送って来ているのでしょうか。

本講義では「愛」について学生諸君と一緒に考え、「愛」についてのsensitivityを磨きたいと思います。前期には、百瀬文晃『キリスト教に問う、65のQ&A』（女子パウロ会、1992年）を用いてキリスト教の概観を把握し、後期にはより具体的にエロスとアガペー、愛とセックスの問題等に取り組んでみたいと考えています。

- 参考文献：ペトロ・ネメシェギ、『キリスト教とは何か』（女子パウロ会、1991年）  
 千葉茂樹編著『マザー・テレサとその世界』（女子パウロ会、1990年）  
 W. エヴァレット、『生きること愛すること』（講談社現代新書503、1978年）  
 ハビエル・ガラルダ、『自己愛と献身』（講談社現代新書1124、1992年）  
 栗本昭夫、『結婚する二人へ』（女子パウロ会、1993年）

0952 キリスト教思想Ⅱ（必・3年次・2単位・通年） 村越好男  
 0965

〔経済生活と愛の教え〕

「人はパンのために生きるにあらず」（マタイ4：4）とは聖書にある名言である。確かにパンなしでは人は生きられないのだが、よく生きるという基本文脈にあって経済生活はその意味を十分に持つのである。そこで、愛の教え、特に「人間の尊厳のために」という視点から、よく生きることと経済生活との関連性について経済思想的にアプローチし、アリストテレス、トマス・アクィナス、アダム・スミスそしてカトリック社会論を考察する。

参考文献：野尻武敏著『人間社会の基礎』（晃洋書房）

0953 キリスト教思想Ⅱ（必・3年次・2単位・通年） 保呂篤彦  
 0966

〔キリスト教の人間理解と倫理〕

キリスト教の倫理およびその基礎になっている人間理解の特色を、現代の合理主義的倫理観・人間観や仏教などの他宗教の倫理観・人間観と対比することによって明らかならしめるようにつとめる。またそれに基づいて「安楽死」問題などの現代の倫理的諸問題に対するキリスト教の取り組みも考察の対象にしたい。

0968 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・通年) Carmen Pavón  
(イスパニヤ語)

[EL MENSAJE DE CRISTO]

Cristo sigue siendo fuente de inspiración, alegría y esperanza para los hombres y mujeres de hoy. ¿Por qué? ¿Dónde está la fuerza de su mensaje?

A la largo del curso intentaremos contestar a estos interrogantes y a otros que vayan surgiendo.

Las clases serán en español y se espera que los estudiantes participen activamente en las reflexiones, diálogos y debates que se planteen.

0970 キリスト教思想Ⅱ (必・3年次・2単位・前期) [国際コース用]  
0971 P. LaForge

(英語)

[Foundations of Business Ethics]

The purpose of the course is to apply traditional Christian principles to modern business ethics. This will be accomplished through a number of class activities, for example, small group discussions. Reflection on these exercises will lead to an understanding of Christianity as operative in the modern business world. The class will be conducted only in English.

1. An introduction to Non-Discursive and Discursive Meditation.
2. Breathing Exercises and Focusing.
3. Bible Study.
4. Educational, Business, and Marriage Contracts.
5. The social dimension of business ethics.

【再履修者：留学帰国者用】

0972 キリスト教思想Ⅱ (再) (必・4年次・2単位・前期・後期)  
0973 石脇慶總

〔福音的信仰の実践としての共同体倫理〕

イエスの福音的信仰が、単なる観念的なイデオロギーでない以上、それは、吾々の日常生活の中で、吾々を生かすはずである。人間の生活は、基本的に共同体的である。孤立した個人のための「救い」は、考えられない。人間は、共同体として救われ、若しくは、救われない。それ故、吾々は、人間共同体を単に、個人倫理の「場」

として捉えるだけでなく、更に積極的に倫理の主体そのものとして捉え、それが、倫理的に「善」であるためには、どのような条件が必要であるか、などを探究する。受講者による討論を受講条件とする。

## 共通専門教育科目 履修要項

1. 共通専門教育科目は、各学部学生が各科目の指定する年次において履修することができる。
2. 共通専門教育科目の履修によって取得できる単位の扱いについては、各学部の定めるところによる。

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
0984	音楽概論 (音楽鑑賞による音楽美の創造性を追求)	3・4	※	4	水谷昌平	
0986	生態学	3・4	※	4	阿江茂	
0987	キリスト教音楽 (死者のためのミサ曲) (Requiem)	3・4	※	4	W.Dunphy	
0991	運動生理学 (運動とからだのはたらきについて)	3・4	※	2	岩見恒典	前期
0992	運動学習の心理	3・4	※	2	寺田邦昭	前期
0993	スポーツ史 (武術におけるヨーロッパと日本)	3・4	※	2	榎本鐘司	後期
0994	基礎身体運動学 (身体の動きを科学する)	3・4	※	2	三浦修史	前期
0995	応用身体運動学 (選手のためにスポーツを科学する)	3・4	※	2	三浦修史	後期
0996	体育・スポーツ経営学 (運動の生活化のために)	3・4	※	2	中路恭平	後期
0999	中国語中級会話	2・3・4	※	2	梁 晧虹	

※ 文学部学生は自由科目、外国語学部生の英米科、イスパニヤ科生は随意科目、日本語学科生は自由科目、経済学部学生の88生以前は随意科目、89生以降は自由科目、経営学科学生は自由科目、情報管理学科学生の89生以前は自由科目、90生以降は随意科目、法学部学生は随意科目として履修することができる。(各学部履修要項参照)

(注) これらの科目は教職関係科目として履修することはできない。

## 講義概要

0984 音楽概論 (※・3・4年次・4単位・通年) 水谷 昌平  
〔音楽鑑賞による音楽美の創造性を追求〕

音楽には作曲・演奏・鑑賞という三つの活動がふくまれている。その三つの音楽活動のもつ創造性について考察し、音楽の美を構成する精神美・形成美・感覚美等について、また音楽の種類について宗教音楽・絶対音楽・歌曲・標題音楽・歌劇などを音楽史的、音楽理論的、音楽様式的な面から考察し、音楽鑑賞活動の面における理解的創造性を追求していきたい。

## 0986 生態学 (※・3・4年次・4単位・通年) 阿江 茂

自然保護、環境の保全、環境アセスメントの基礎として、現在における環境にかかわる諸問題を理解するためには、人類がその生活の場としている地球の自然環境について知らなければならない。この講義は主として日本と南アジアにおける現在の“環境の保全”等の実際の問題を参考にしつつ、自然環境について基礎的な理解を与えることを目的とする。

高校教育を基礎として講義を行うので、これまでに一般教育の生物学を履修していることを必要としないが、専門領域まで進むので、生物学に十分興味を持っていることが望ましい。なお、総合Ⅱ“人間と環境”と基礎的な部分は重複するが、くりかえし学習することはさしつかえない。希望する学生には自然環境についての環境アセスメントの基礎を実習指導する。

0987 キリスト教音楽 (※・3・4年次・4単位・通年) W. Dunphy  
〔死者のためのミサ曲 (Requiem)〕

グレゴリオ聖歌の死者のためのミサ曲から、A. Lloyd WebberのRequiemまで、Mozart, Berlioz, Brittenなどの有名なミサ曲がたくさん残っている。

そのテキストを理解した上で、ミサ曲を聞きながら、それぞれの時代の死に対する西洋思想が、どのように音楽を通して現われてきたのかを調べてゆきたい。

場合によってはキリスト教音楽 (Magnificat, Stabat Materなど)をも紹介する。

0991 運動生理学 (※・3・4年次・2単位・前期) 岩見 恒典  
〔運動とからだのはたらきについて〕

人間が何らかの運動をしようとする場合には、運動を支配する機能として神経系が、運動を発現させる機能として筋や骨格が、そして、運動を持続させる機能として呼吸・循環系が関与することになる。このように、運動生理学の対象となる課題は広い範囲に及んでいるが、ここでは、これらの機能のうち、いくつかについて、受講者が相互に検者・被検者となって、測定や検査を行い、これまでに報告されて

いる研究成果との比較検討を中心に、科学的態度を身につけると同時に健康や体力の保持・増進について、生理的側面から考察したい。(実習が中心となるので受講者数は約20名に限定する。)

### 0992 運動学習の心理 (※・3・4年次・2単位・前期) 寺田 邦 昭

テニス(雨天時はバドミントン)を教材として、運動技術の習得にかかわる心理学的諸問題について実験・実習をします。具体的には運動学習における視知覚・運動感覚の役割。分習法・全習法、集中法・分散法など練習法と学習効果。メンタルプラクティス効果やフィードバック情報の利用法。その他、動機付けや見物効果、学習効果の転移、競争と協同、リーダーシップ、運動適性など、運動学習に関わりの深い心理学的事象についてのフィールド実験や測定を実施すると共に、併せてテニス・スキルの向上をも図ります。尚、単位数計算の基礎に基づき、授業は毎週3時間(土曜2～4時限)・半期とし、内1時間は講義、2時間を実施・実習に充てる予定です。

### 0993 スポーツ史 (※・3・4年次・2単位・後期) 榎本 鐘 司 〔武術におけるヨーロッパと日本〕

日本には古武術の多くの流派が継承され、また剣道・柔道などの近代武道もおこなわれている。これは、少なくともヨーロッパには例のないことである。

このように多くの武術が継承された理由はどこにあるのだろうか。1つの理由として、日本の場合には、中世～近世をとおして、家や同族集団によって『秘伝』が伝承されてきたが、中世ヨーロッパの場合には、『秘伝』は特殊な法人(同業組合)に属するものとして存在したということがあげられる。

このような問題や、武術の近代化の問題をとりあげ、日本とヨーロッパの武術史について述べる。

### 0994 基礎身体運動学 (※・3・4年次・2単位・前期) 三浦 修 史 〔身体の動きを科学する〕

ほとんどのスポーツの演技は自分の身体を動かすか、あるいは外部の物体に運動を与えるかによってそれが成立している。したがって、動きは全てのスポーツ技術にとって基本的なものといえる。そして、これらの動きも基本的科学の法則や原理に支配されていることにスポーツの経験者なら気がつくことであろう。授業では、これらの動きの基本法則や原理を学ぶとともに高速ビデオ動作解析装置を使用している実験実習を行う。

0995 応用身体運動学 (※・3・4年次・2単位・後期) 三 浦 修 史  
〔選手のためにスポーツを科学する〕

スポーツ演技の多くは単に身体や身体各部分が運動するという以上のものを含んでいる。たとえば、ボール、バット、ラケット、クラブなどの用具を操作するという場合、単に機械的動きというものではない。それらの用具をどの様に操作するかということが結果に影響を及ぼすのである。授業では、個人が興味を持つスポーツ技術を対象に合理的な動きとはどのようなものかを究明する。よって、スポーツ活動を行っている学生の受講を希望する。ただし、身体運動学、基礎身体運動学の履修を終えた者に限る。

0996 体育・スポーツ経営学 (※・3・4年次・2単位・後期)

中 路 恭 平

〔運動の生活化のために〕

レジャースポーツ、健康スポーツがブームとなってきたとはいえ、日常的に運動をしている人はまだほんのひと握りにしかすぎない。運動の価値を認め運動欲求を持つ人が、運動の場に接近行動をとるか否かは、運動の場の条件に大きく影響される。運動の施設それ自体にも人を運動に向かわせる力はあるが、より継続的に望ましい運動の生活化を促進させるためには、様々な環境条件を設定する営みが必要となる。ここでは、そのような運動の場を提供するための理論と方法について検討する。

0999 中国語中級会話 (※・2・3・4年次・2単位・通年)

梁 暁 虹

中国語の基礎を既修した者を対象として、表現力のいっそうの充実をはかる。中国語を耳でとらえ、かつ自身でも発声する練習を反復して、中国語の音声にどっぷりと身を浸す、そんな時間にしたい。また、会話文などからうかがいしれる中国人の思考方法や風俗習慣などにもできるだけふれる。

せっかく習得した中国語の基礎を忘れてしまわないために、そしてより強固なものとするために、積極的に受講されたい。

教職課程および  
博物館学芸員養成課程

### 【教職に関する科目】

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
9005	教育原論 (A)	2	随	4	三上 茂	教育学科生に限り「教育学」及び「教育社会学」を以ってこれに充当できる。
9006	(B)	2	随	4	酒井 朗 荻原 克巳	同上(前期) 同上(後期)
9007	(C)	2	随	4	荻原 克巳 廣田 照幸	同上(前期) 同上(後期)
9008	(D)	2	随	4	梅村 敏郎	同上
9025	学校教育心理学 (A)	3	随	4	増田 末雄	
9026	(B)	3	随	4	増田 末雄	
9027	(C)	3	随	4	泉 ひさ	
9028	(D)	3	随	4	石田 裕久	
9031	道徳教育の研究 (A)	4	随	2	荻原 克巳	中学校教員免許状並びに高校地歴又は公民免許一方のみを取得するには単位数の都合上必要(前期)
9032	(B)	4	随	2	荻原 克巳	同上(後期)
9033	(C)	4	随	2	梅村 敏郎	同上(前期)
9034	(D)	4	随	2	梅村 敏郎	同上(後期)
9051	英語科教育法 (A)	3	随	4	田中 春美	
9052	(B)	3	随	4		本年度休講
9053	(C)	3	随	4	松永 隆	外国語学部向
9054	(D)	3	随	4	田中 春美	同上
9061	フランス語科教育法	3	随	4	M.-A.Morita	
9065	ドイツ語科教育法	3	随	4	石井 賢治 林田 雄二	前期 後期
9071	イスパニア語科教育法	3	随	4	高橋 覚二	
9075	国語科教育法	3	随	4	武山 隆昭	
9081	宗教科教育法	3	随	4	景山 あきこ	隔週
9085	社会科教育法	3	随	2	加藤 瑛二	夏期集中
9087	地理歴史科教育法	3	随	2	加藤 瑛二	前期
9088	公民科教育法	3	随	2	加藤 瑛二	後期

※

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
9091	商業科教育法 A	3	随	2	安藤明之	} A: B両科目とも履修すること } A: 前期 } B: 集中
9092	商業科教育法 B	3	随	2	安藤明之	
9095	数学科教育法	3	随	4	{ 春藤修二 浜島清治	前期 夏期集中
9041	生徒指導論 (A)	3	随	2	荻原克巳	前期
9042	(B)	3	随	2	荻原克巳	前期
9045	教科外指導論 (A)	3	随	2	荻原克巳	後期
9046	(B)	3	随	2	荻原克巳	後期
9010	教育実習指導 (教育実習を含む)	4	随	3	教職課程委員会	

※ 社会科・地理歴史科・公民科の免許状を取得予定の学生は履修教科を次の表の組合せに従って登録すること。

組合せ \ 科目	道徳	社会	地歴	公民
社会 (中学)	○	○	/	/
地歴 (高校)	○	/	○	/
公民 (高校)	○	/	/	○
地歴+公民 (高校)	○	/	○	○
社会+地歴+公民	○	○	○	○
社会+地歴	○	○	○	/
社会+公民	○	○	/	○

## 【教職に関する科目】

### 講義概要

- 9005 教育原論（A）（随・2年次・4単位・通年） 三上 茂  
主として現代の中等教育の理解に資するという観点から、教育の基本構造、目的、制度、内容、方法、さらに教師、学校教育に関わる法規などの概観を試みる。  
使用テキスト：教師養成研究会編『教育原理』学芸図書株式会社
- 9006 教育原論（B）（随・2年次・4単位・通年） 前期 酒井 朗  
後期 荻原 克巳  
前期は、学校教育の構造とその社会的機能に対する理解を深めるとともに、教員の職務と役割および教員文化について概説する。また、登校拒否や受験競争など教育をめぐる今日の問題についても検討する。  
後期は、教授方法、学習指導、生活指導、特別活動、学級経営、教師論など「教育経営・実践」を中心に講義する予定である。  
後期使用テキスト：教師養成研究会編『教育原理』学芸図書株式会社
- 9007 教育原論（C）（随・2年次・4単位・通年） 前期 荻原 克巳  
後期 廣田 照幸  
前期は、使用テキストも含め、（B）の後期と同じ。  
後期は、現代教育の基本的な構造や機能について概観する。
- 9008 教育原論（D）（随・2年次・4単位・通年） 梅村 敏郎  
教職志望者に対して教育に関する基本的理解を与えることを主眼として、教育の本質、中等教育の目的及びカリキュラム、教師の使命と教員養成制度の変換等のテーマについて論究する。
- 9025 学校教育心理学（A）（随・3年次・4単位・通年） 増田 末雄  
9026 学校教育心理学（B）（随・3年次・4単位・通年） 増田 末雄  
学校教育心理学の理解を深めるために次の項目について概説をする。  
1. 学校教育心理学とは 2. 幼児・児童・青年の心身の発達についての理解  
3. 学習の原理及び学習指導について 4. 人格と適応 5. 学級集団 6. 教育評価  
7. 教育機器と教育工学 8. 教師の心理

- 9027 学校教育心理学 (C) (随・3年次・4単位・通年) 泉 ひ さ**  
幼児、児童、青年の心身の発達の特徴及び学習過程について考察する。一方リポートの発表及び討議を行う。  
テキスト：鈴木清、深山富男、伊吹昌夫編『教育心理学概説』（ミネルヴァ書房）
- 9028 学校教育心理学 (D) (随・3年次・4単位・通年) 石 田 裕 久**  
教育心理学の中心的課題である「子どもの心身の成長・発達」および「学習」の諸過程について理解を深めるとともに、教育の指導・方法にかかわるさまざまな問題についても解説を加える。  
テキスト：神谷他編 テキスト教育心理学（福村出版）
- 9031 道徳教育の研究 (A) (随・4年次・2単位・前期) 荻 原 克 巳**  
**9032 道徳教育の研究 (B) (随・4年次・2単位・後期) 荻 原 克 巳**  
道徳教育の基本的な問題としての社会化と人格化について種々の側面から検討していく。  
使用テキスト：『中学校指導書—道徳編—』文部省
- 9033 道徳教育の研究 (C) (随・4年次・2単位・前期) 梅 村 敏 郎**  
わが国の近代学校における道徳教育の歴史を概観し、さらに『中学校指導書——道徳編』（文部省）の示す道徳教育の目標、内容、指導計画の作成、指導方法等について検討する。
- 9034 道徳教育の研究 (D) (随・4年次・2単位・後期) 梅 村 敏 郎**  
道徳教育に関する古典的著作もしくは注目すべき論文を取り上げ、学校における道徳教育の基本的在り方を考究する。
- 9051 英語科教育法 (A) (随・3年次・4単位・通年) 田 中 春 美**  
前期は、主としてテキストを読みながら、教授法を中心として言語研究と外国語教育のかかわり方を考える。後期は、前期のテーマが終わりしだい、教案の書き方、評価の問題、文部省の指導要項、教育機器の扱いなどに触れる。前後期の定期試験のほか、数回のレポートを要求する。出席は極めて重視される。  
テキスト：後日指定
- 9053 英語科教育法 (C) (随・3年次・4単位・通年) 松 永 隆**  
テキストはその都度指定する。

9054 英語科教育法 (D) (随・3年次・4単位・通年) 田中春美

9061 フランス語科教育法 (随・3年次・4単位・通年) M. -A. Morita  
189頁参照。

9065 ドイツ語科教育法 (随・3年次・4単位・通年)

前期 石井賢治  
後期 林田雄二

203頁参照。

9071 イスパニア語科教育法 (随・3年次・4単位・通年) 高橋覚二

289頁参照。

9075 国語科教育法 (随・3年次・4単位・通年) 武山隆昭

215頁参照。

9081 宗教科教育法 (随・3年次・4単位・通年・隔週) 景山あきこ

120頁参照。

9085 社会科教育法 (随・3年次・2単位・集中) 加藤瑛二

教員免許法改正に伴う教科で、中学校社会科免許状取得のための必須教科である。中学校の現状を念頭に、地理・歴史・公民的分野全般について講義形式で行なう。集中講義のため、あらかじめ4月に『中学校学習指導要領、社会科編』(文部省、平成元年)を用意しておくことが望ましい。

9087 地理歴史科教育法 (随・3年次・2単位・前期) 加藤瑛二

教員免許法改正に伴う新設教科で、高等学校地理歴史科免許状取得のための必須教科である。高等学校地理・歴史科教育に対応するため、地歴の教材研究を中心として実践的内容を学習し、模擬授業による発表形式を加える。

9088 公民科教育法 (随・3年次・2単位・後期) 加藤瑛二

教員免許法の改正に伴う新設教科で、高等学校公民科免許状取得のための必須教科である。高等学校公民科教育に対応するために、教材研究を中心として実践的な内容を学習し、模擬授業による発表形式を加える。

9091 商業科教育法A (随・3年次・2単位・前期) 安藤明之

397頁参照。

9092 商業科教育法B (随・3年次・2単位・集中) 安藤明之  
397頁参照。

9095 数学科教育法 (随・3年次・4単位・前期+集中)  
427頁参照。 前期 春藤修二  
集中 浜島清治

9041 生徒指導論A (随・3年次・2単位・前期) 荻原克巳

9042 生徒指導論B  
「社会化」という観点から、児童・生徒の積極性、協調性といった社会的、対人の態度の形成、および学級内の望ましい人間関係育成のための具体的方策について論じる。また適性という点からみた進路指導の問題についてもふれる。

使用テキスト：『生徒指導の手引』（改訂版）文部省

9045 教科外指導論A (随・3年次・2単位・後期) 荻原克巳

9046 教科外指導論B  
教科活動以外の特別諸活動を通じての自主的・社会的態度の育成、そのためのグループ活動の指導のあり方等について具体的に解説する。

使用テキスト：『中学校指導書—特別活動編—』文部省

9010 教育実習指導（教育実習を含む） (随・4年次・3単位)  
荻原克巳

次頁参照。

### 教育実習指導

教育実習は2週間の実習と水・土曜日の午後、あるいは月・火・木・金曜日の9・10時限に行われる教育実習指導（講義形成）により構成される。授業日については別途通知するので必ず出席すること。

テキスト：教師養成研究会編『教育実習の研究』（学芸図書株式会社）

## 【博物館に関する授業科目】

科目コード	授業科目	年次	指定	単位	担当者	備考
9005	教育原論 (A)	2	随	4	三上 茂	教育学科生に限る「教育学」及び「教育社会学」を以ってこれに充当できる
9006	(B)	2	随	4	酒井 朗 荻原 克巳	同上(前期) 同上(後期)
9007	(C)	2	随	4	荻原 克巳 廣田 照幸	同上(前期) 同上(後期)
9008	(D)	2	随	4	梅村 敏郎	同上
9101	*博物館学	2・3	随	4	早川 正一	博物館に関する科目
9111	*社会教育概論	2・3・4	随	2	広瀬 鎮	博物館に関する科目 集中
9115	*視聴覚教育	2・3・4	随	2	高桑 康雄	博物館に関する科目 集中
9105	*博物館実習 (a)	3・4	随	3	重松 和男	博物館に関する科目
9106	*博物館実習 (b)	3・4	随	3	重松 和男	博物館に関する科目

\* 卒業に必要な単位に算入されない。

教育原論の講義概要については「教職関係科目履修要項」(523頁)を参照。

## 【博物館に関する科目】

- 9101 博物館学 (随・2・3年次・4単位・通年) 早川正一  
博物館の現代的意義を根本的に把握するために先進的な欧米の博物館事業に関する発達の足跡を検討するとともに、昨今の日本における多様な博物館活動や博覧会開催の影響にも言及して博物館の基礎概念を培う。
- 9111 社会教育概論 (随・2・3・4年次・2単位・集中) 広瀬 鎮  
生涯学習論に立った現代社会教育の構造を明らかにする。とくに我国社会教育の史的発展を海外の社会教育の発達史と比較し、社会教育の機能についてふれる。博物館、図書館、その他社会教育施設における専門職員、社会教育計画、学習実践について学外授業(交通費各自負担)を含め、社会教育の本質に迫る。
- 9115 視聴覚教育 (随・2・3・4年次・2単位・集中) 高桑康雄  
現代における生涯教育の重要性に視点を向け、現代社会の一特徴である視聴覚メディアの意義を考えるとともに、それが生涯教育のための一手段として、どのように活用されるべきかを論ずる。なお、それらの理解を深めるため、放送局や視聴覚ライブラリー、関連する博物館等の見学と検討を学外授業(交通費各自負担)として実施する。
- 9105 博物館実習<sup>(a)</sup>  
9106 博物館実習<sup>(b)</sup> (随・3・4年次・3単位・通年) 重松和男  
本学の人類博物館(G棟地下)において行う。カード目録の作成、説明文、写真、パネル等の作成が中心になる。この他、博物館見学旅行を年一回(1泊2日程度、交通費、宿泊費等各自負担)実施し、参加を義務づけている。  
なお、平成6年度 (a) 木曜3・4限は3年次生は履修不可。  
(b) 木曜5・6限は3年次生のみ履修可。